

火山噴火予知連絡会見解・検討結果と火山情報等*

以下では、霧島山新燃岳の2011年の活動発生以降にまとめられた火山噴火予知連絡会の見解・検討結果と、2008年の活動活発化以降に気象庁が発表した火山情報等についてまとめる。

1 火山噴火予知連絡会見解・検討結果

火山噴火予知連絡会は、年3回定例会を開催して全国の火山活動について総合的に検討を行う他、火山噴火などの異常時には、臨時に幹事会や連絡会を開催して火山活動について検討し、必要な場合は見解等を発表するなどして防災対応に資する活動を行っている。今回の新燃岳の活動に際しては2011年2月3日に拡大幹事会を、3月22日に臨時会（第119回連絡会）を開催し、それぞれ新燃岳の活動検討結果を発表した。ここではそれらの際にまとめられた見解・検討結果と、第118回定例会（2011年2月15日）から第127回定例会（2013年10月22日）までの9回の定例会でまとめられた検討結果の全文を掲載する（資料1）。なお、これらの見解・検討結果は、後述の「火山の状況に関する解説情報」で発表している。

2 気象庁が発表した火山情報等

2.1 噴火予報・噴火警報

気象庁では2007年12月1日から噴火予報・噴火警報を発表しており、噴火警戒レベルが運用されている火山では噴火警戒レベルを付して噴火予報・噴火警報を発表している。新燃岳では2007年12月1日から噴火警戒レベルの運用を開始した。ここでは、噴火予報・噴火警報発表開始時の予報文も含め、2013年10月末までに発表した噴火予報・噴火警報の発表状況を表1にまとめる。また、これまでに発表した噴火予報・噴火警報の全文を資料2に掲載する。

2.2 火山の状況に関する解説情報

火山の状況に関する解説情報（以下「解説情報」）は、噴火等の状況や警戒事項について、火山活動の状況に応じて適時または定期的に発表するテキスト文で、噴火予報・噴火警報と同じく2007年12月1日に発表を開始した。今回の新燃岳の活動に際して

は、活動が活発な時期には状況に応じて解説情報を随時発表した他、活動がやや落ち着いた時期には毎日16時に、活動が概ね静穏になった時期には毎週2回（月曜日と金曜日の16時に）発表することを基本とした。また、先述のように、火山噴火予知連絡会見解・検討結果を解説情報で発表した。2013年10月末までに発表した解説情報について、その発表状況を表2にまとめる。また、発表した解説情報の例を資料3に示す。

2.3 火山活動解説資料（臨時）

火山活動解説資料（以下「解説資料」）は、火山活動の状況や警戒事項について、図表等を用いて解説する資料であり、2002年3月1日に発表を開始した。解説資料には、毎月上旬に発表する定期的なものと、火山活動に変化があった場合等に発表する臨時的なものの2種類がある。噴火予報・警報を発表した直後にそれらの補足的資料として発表する場合もある。ここでは今回の新燃岳の活動開始以降2013年10月末までに発表した臨時的な解説資料について、その発表状況を表3にまとめる。また、発表した解説資料の例を資料4-1～4-5に示す。

2.4 降灰予報

気象庁では、2008年3月31日から降灰予報の発表を行っており、今回の新燃岳の噴火活動に伴い降灰予報を39回発表した（2013年10月末現在、表4）。降灰予報は、噴煙の高さが火口縁上3000m以上になるなど、広範囲に降灰があると予想した場合に発表しているが、新燃岳においては降灰の影響が大きかったことから、発表基準を暫定的に、噴煙の高さが火口縁上2000m以上の噴火が発生した場合、もしくは相当の噴火が発生したと予想した場合に発表した。降灰予報では、噴火日時や噴煙の高さの他、降灰が予想される都道府県、予報の対象時間（概ね6時間）を記載し、噴火発生から毎正時までで降灰が予想される範囲を図で提供した。発表した降灰予報の例を図1-1及び図1-2に示す。

2.5 VAA（Volcanic Ash Advisory，航空路火山灰情報）

VAAは、1997年3月3日に発表を開始した、火山

*坂井孝行（地震火山部火山課，現所属：地震予知情報課）

の噴火や浮遊火山灰に関する実況及び拡散予測を提供する情報で、航空機の運航の安全に影響すると思われる火山灰に関する空域気象情報（シグメット情報，SIGMET）発表を支援する情報として位置付けられている。VAA を提供する航空路火山灰情報センター（VAAC）は世界に 9 つあり、日本（気象庁）は国際民間航空機関（ICAO）の指名を受け、東アジア及び北西太平洋域を責任領域とする東京 VAAC を運営している。東京 VAAC は責任領域内の火山観測所からの火山監視に基づく情報やパイロットレポート等を入手し、衛星画像を用いた火山灰雲の監視を行っており、VAA の文字情報（FVFE01）、図情報の火山灰拡散予測図（VAGF※）を発表し、国内向けにはこれらに加え、火山灰実況図（VAGI）及び狭域拡散予測図（VAGFN）を発表している。これらの情報により航空機は飛行経路を変更するなどして火山灰を回避することができる。今回の新燃岳の活動に関連して 2013 年 10 月末までに発表された VAA の発表状況を表 5 にまとめる。また、それらの情報の例を資料 5、6 及び図 2-1～図 4 に示す。

※）2011 年 6 月 15 日から新しい形式の火山灰拡散予測図（VAG）に変更している。

なお、本資料の作成に当たり、火山課の山里 平課長からは貴重なご助言を頂いた。また、降灰予報と VAA の資料作成に当たっては、火山課の長谷川嘉彦氏と杉浦 理氏のご協力を頂いた。記して感謝申し上げます。

資料1 火山噴火予知連絡会見解・検討結果

報道発表資料
平成23年2月3日
気 象 庁

霧島山（新燃岳）の火山活動に関する火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解

霧島山（新燃岳）では、活発な噴火活動が続いており、当分の間は、現在と同程度の溶岩を吹き飛ばす爆発的な噴火を繰り返すと考えられます。

霧島山（新燃岳）の火山活動は、2008年8月、2010年3～7月に、ごく小規模～小規模な噴火が発生するなど、やや活発な状態が続いていましたが、本年（2011年）1月19日から噴火が始まり、活発な噴火活動が続いています。

1月19日から始まった噴火は、26日から本格的なマグマ噴火となり、新燃岳火口に溶岩が噴出し、火口内での蓄積量は次第に増加しました。噴火に伴い、風下側では居住地の付近で風の影響を受けた小さな噴石（火山れき）や多量の火山灰が降りました。火口近傍でごく小規模な火砕流の発生の痕跡も認められています。27日からは爆発的な噴火が時々発生するようになり、2月1日07時54分の爆発では、弾道を描いて大きな噴石が火口から3.2kmにまで飛散し、空振によって窓ガラスが割れる等の被害がありました。

これまでの噴出物量は、4千万～8千万トン程度と推定されます。

1日あたり1万トン以上の二酸化硫黄の放出が観測されており、火山ガスの放出活動も活発です。

GPSの観測では、2009年12月から霧島山周辺では地盤の伸びが観測されていましたが、噴火活動が活発化するのに伴い縮みに転じました。1月26日からは、傾斜・ひずみ観測により、顕著な噴煙活動期や火口内への溶岩の噴出期に収縮率が大きくなる傾向が認められます。収縮は、新燃岳の北西数kmの地下深くに存在するマグマだまりから新燃岳へマグマが上昇・噴出していったことを示すと推定されます。収縮に伴う地盤の縮みは、2009年12月からの伸びの4分の3程度となっています。収縮は1月31日から鈍化・停滞していますが、2月1日以降は、活発な爆発的な噴火活動が続いています。

当分の間は、現在と同程度の溶岩を吹き飛ばす爆発的な噴火を繰り返すと考えられます。

18世紀のマグマ噴火では、2年程度噴火活動が続いています。今回の火山活動は、約300年ぶりの本格的なマグマ噴火であり、活動の推移を注意深く見守る必要がありますので、今後観測体制の強化が必要です。

噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。降雨に関する情報に注意ください。

資料 1 (続き)

報 道 発 表 資 料

平成23年 2 月15日

気 象 庁

第118回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

引き続き爆発的噴火は続くと思われますが、新燃岳へ上昇するマグマの量は現在は低下しており、多量の火山灰等を放出するような噴火の可能性は低くなっています。しかし多量のマグマが再上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。

霧島山（新燃岳）では、1月26日から本格的なマグマ噴火が始まり、多量の火山灰等を放出する噴火活動があり、火口内に溶岩が噴出、爆発的な噴火が繰り返されました。

2月4日以降、ほぼ連続的に火山灰を放出していましたが、9日頃から噴火は断続的となり、その後は、2月11日と14日に爆発的噴火が発生しましたが、噴火の頻度は低くなっています。9日以降は、火山性微動は減少し、新燃岳を震源とする火山性地震も散発的な噴火に伴う一時的な増加を除いて減少しています。火口に出現した溶岩の蓄積量も2月3日以降ほとんど変化がみられなくなりました。

新燃岳へのマグマの上昇・噴出に対応してGPS等で観測された新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりの収縮は1日以降停滞しています。傾斜計でも1月26日～31日にみられたような顕著な変化は観測されていません。また、新燃岳周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のことから、地下深くのマグマだまりから新燃岳へ上昇するマグマの量は、現在、低下していると推定されます。引き続き爆発的噴火は続くと思われますが、当面、1月26日～27日にみられたような多量の火山灰等を放出する噴火の発生の可能性は低くなっていると考えられます。

しかし、再び多量のマグマが新燃岳へ上昇すれば噴火活動が活発化する可能性があり、地殻変動等のデータを注意深く見守る必要があります。

引き続き、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意ください。

資料1（続き）

報道発表資料
平成23年3月22日
気象庁

第119回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳は間欠的に噴火が発生しているものの最盛期の活動に比べ低下した状態で推移しています。一方、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており、また、マグマだまりから新燃岳へのマグマの上昇は断続的に続いていると推定され、噴火活動は今後も続くと考えられます。

霧島山（新燃岳）では、1月26日から本格的なマグマ噴火が始まり、多量の火山灰等を放出する噴火活動があり、火口内に溶岩が噴出、爆発的な噴火が繰り返されました。

2月15日以降、2月18日と3月1日に爆発的な噴火が発生し、3月13日には火口上4000mに噴煙を上げる噴火が発生して風に流された直径1～4cmの小さな噴石（火山れき）が火口から9kmまで降下するなど、間欠的に噴火が発生しています。しかし、2月上旬までの最盛期に比べ噴火の規模や頻度は低下した状態になっています。傾斜観測では、噴火の数時間～2日前に新燃岳がわずかに膨張し、噴火に伴い収縮して元に戻る変化が見られ、これは間欠的なマグマの動きによると推定されます。また噴火の前後で火山性地震がやや増加する傾向が見られます。

最盛期は1万トン以上であった1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、概ね1000トン以下で経過しています。

GPS観測によると、1月26日から2月1日の本格的なマグマ噴火に対応して急激に収縮した新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりは、再び緩やかな膨張に転じています。新燃岳周辺の地震活動には、顕著な変化は認められません。

以上のように、新燃岳の噴火活動は最盛期に比べ低下した状態で推移しています。しかしながら新燃岳へのマグマ上昇は断続的に続いていると推定され、噴火活動は今後も続くと考えられます。また、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は2009年12月以降、同程度の割合で続いています。マグマだまりから新燃岳へ大量にマグマが上昇するようなことがあれば噴火活動が再び活発化すると考えられます。

引き続き、新燃岳付近では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。

噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意ください。

資料1 (続き)

報道発表資料

平成23年6月7日

気象庁

第120回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の噴火活動は低下してきています。しかし、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており、マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。

霧島山（新燃岳）では、1月26日から本格的なマグマ噴火が始まり、多量の火山灰等を放出する噴火活動があり、火口内に溶岩が噴出、爆発的な噴火が繰り返されました。

新燃岳の噴火は、2月中旬以降、最盛期に比べ規模や頻度は低下しながらも4月18日まで続きましたが、それ以降は発生していません。新燃岳直下のマグマの動きを反映していると推定される山体がわずかに膨張して元に戻る傾斜変化も5月1日以降見られなくなり、浅部の火山性地震の回数も5月以降はやや減少しています。

また1日あたりの二酸化硫黄の放出量も数百トン以下と少ない状態で経過しています。

一方、GPS観測によると、1月26日から2月1日の本格的なマグマ噴火に対応して急激に収縮した新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりは、現在も2009年12月以降と同程度の割合で緩やかな膨張を続けています。

新燃岳周辺の地震活動には、顕著な変化は認められません。

以上のように、新燃岳の噴火活動は低下してきています。しかしながら、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いています。マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化し、1月下旬から2月上旬の本格的な噴火に匹敵する活動を再開すること考えられます。

引き続き、2月中旬以降発生した程度の爆発的噴火の可能性はありますので、新燃岳付近では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。

噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報にご注意ください。

資料1（続き）

報道発表資料
平成23年10月11日
気 象 庁

第121回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳では、間欠的に噴火が発生しています。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており、今後噴火活動が再び活発化する可能性があります。

霧島山（新燃岳）では、1月26日から本格的なマグマ噴火が始まり、多量の火山灰等を放出する噴火活動があり、火口内に溶岩が噴出、爆発的な噴火が繰り返されました。4月18日以降約2ヶ月間噴火が発生しませんでした。6月16日以降、間欠的に噴火が発生しており、数時間～1週間程度継続する噴火が7回発生しました。

新燃岳直下の火山性地震はやや多い状態が継続しています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、噴火中や噴火直後は1日あたり1000～2000トン程度と増加しましたが、それ以外は200～400トン程度と少ない状態で経過しています。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりは、1月26日から2月1日の本格的なマグマ噴火に対応して急激に収縮したものの、再び緩やかな膨張を続け、現在、その膨張量は、本格的なマグマ噴火の際の収縮量の半分以上となっています。

新燃岳周辺の地震活動には、顕著な変化は認められません。

以上のように、新燃岳では、噴火を繰り返しており、引き続き、2月中旬以降発生した程度の爆発的噴火の可能性はあります。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており、今後、噴火活動が再び活発化する可能性があります。深部のマグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、今年1月下旬から2月上旬の本格的な噴火に匹敵する活動を再開することも考えられます。

引き続き、新燃岳付近では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。

噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報にご注意ください。

資料 1 (続き)

報道発表資料

平成24年 2 月 29 日

気 象 庁

第122回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止しています。しかし、現在でも火口やその直下には高温の溶岩が溜まっており、新燃岳直下の火山性地震も続いていることから、突発的な噴火が発生する可能性があります。また、今後、深部からのマグマ供給が再開する可能性もあり、新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば新たな噴火の可能性があります。

霧島山（新燃岳）では、昨年 9 月 7 日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳直下の火山性地震はやや多い状態が継続しています。1 日あたりの二酸化硫黄の放出量は、200～500 トン程度です。

新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりは、昨年 1 月 26 日から 2 月 1 日の本格的なマグマ噴火に対応して急激に収縮した後、再び緩やかな膨張を続けました。GPS 観測によると、マグマだまりの膨張に伴う基線長の伸びは、本格的なマグマ噴火の際の短縮量の 3/4 程度となった昨年 12 月頃からは鈍化し、現在は停滞しています。

新燃岳周辺の地震活動には、顕著な変化は認められず、他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。

以上のように、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには相当量のマグマが蓄積されていますが、現在はマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止していると推定されます。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、新燃岳直下の火山性地震の活動や火山ガスの放出も続いていることから、現在でも突発的に噴火が発生する可能性があります。また、今後、深部からのマグマの供給が再開する可能性もあり、マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば昨年 1 月下旬から 2 月上旬の本格的な噴火の規模に匹敵または上回る新たな噴火活動に至ることも考えられます。

引き続き、新燃岳付近では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。

噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報にご注意ください。

資料1（続き）

報道発表資料
平成24年6月26日
気象庁

第123回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止し、新燃岳浅部の活動も低下しています。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

霧島山（新燃岳）では、昨年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳直下の火山性地震は今年3月頃から減少しており、5月以降は昨年の噴火前とほぼ同程度になっています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、300トン未満と少ない状態で経過しています。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、昨年12月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。新燃岳周辺の地震活動には、顕著な変化は認められません。

以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止し、新燃岳浅部の活動も低下していると推定されます。しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

また、今後、マグマの供給が再開すれば、昨年1月下旬から2月上旬の本格的な噴火の規模に匹敵または上回る新たな噴火活動の可能性はあります。

引き続き、新燃岳火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

気象台の発表する噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

資料 1 (続き)

報道発表資料
平成24年10月24日
気 象 庁

第124回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震が続いていることから、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

霧島山（新燃岳）では、昨年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳直下の火山性地震は今年5月頃から減少していますが、8月30日に新燃岳南西1km付近で一時的に地震が増加した後、それまでよりわずかに多い状態になっています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、7月以降、数10トン未満で検出限界に近い状態で経過しています。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、昨年12月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がわずかながらも続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

また、今後、マグマの供給が再開すれば、昨年1月下旬から2月上旬の本格的な噴火の規模に匹敵または上回る新たな噴火活動の可能性はあります。

引き続き、新燃岳火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

気象台の発表する噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

資料1 (続き)

報道発表資料
平成25年3月12日
気象庁

第125回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震がやや増加していることから、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

霧島山（新燃岳）では、平成23年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳火口直下の火山性地震は昨年5月頃から減少していましたが、3月5日頃からやや増加しています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、昨年7月以降、数10トン未満で検出限界に近い状態で経過しています。火口に蓄積した溶岩の状態にも特段の変化は認められません。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、平成23年12月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震もやや増加していることから、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。今後は、火口及び火口近傍の活動を注意深く見ていく必要があります。

また、地下からのマグマの供給が再開すれば、本格的な噴火が再開する可能性は残っています。

引き続き、新燃岳火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

気象台の発表する噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

資料 1 (続き)

報道発表資料

平成25年6月18日

気象庁

第126回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

霧島山（新燃岳）では、平成23年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳火口直下の火山性地震は昨年5月頃から減少し、今年3月及び4月に一時的にやや増加しましたが、全般には少ない状態で経過しています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量も、昨年7月以降、数10トン未満で検出限界に近い状態となり、今年に入ってから検出されていません。火口内の溶岩の状態にも特段の変化は認められません。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、平成23年12月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止しており、新燃岳の火口直下の活動も大きな変化がなく、火山活動は落ち着いた状態が続いています。

しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、引き続き、小規模な噴火が発生する可能性は否定できないことから、新燃岳火口周辺では警戒してください。

なお、地下からのマグマの供給が再開すれば、本格的な噴火が再開する可能性は残っています。

今後、火口及び火口近傍の観測体制を強化し、注意深く監視していく必要があります。

降雨時の泥流や土石流にも引き続き警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

資料1 (続き)

報道発表資料

平成25年10月22日

気 象 庁

第127回火山噴火予知連絡会
霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性は残っています。

霧島山（新燃岳）では、平成23年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳火口直下の火山性地震は少ない状態で経過しています。1日あたりの二酸化硫黄の放出量も、検出限界以下の量になっています。火口内の溶岩の状態には、特段の変化は認められません。

GPS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、平成23年12月以降鈍化・停滞しています。火口近傍を含め、他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のように、新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口内にたまった溶岩は依然高温状態にあり、火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性は残っています。火口周辺では警戒してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

表 1 霧島山（新燃岳）噴火予報・噴火警報の発表状況（2013 年 10 月末現在）

発表年月日	時刻	予報・警報の種類	噴火警戒レベル	警戒範囲	火山活動、備考
2007/12/1	10:19	噴火予報	1(平常)	—	予報・警報の発表開始
2008/8/22	17:15	火口周辺警報	2(火口周辺規制)	1km	微動発生
2008/10/29	11:00	噴火予報	1(平常)	—	活動低下, 警報解除
2010/3/30	09:10	火口周辺警報	2(火口周辺規制)	1km	微動発生, 白色噴煙の量増加
2010/4/16	11:00	噴火予報	1(平常)	—	活動低下, 警報解除
2010/5/6	14:00	火口周辺警報	2(火口周辺規制)	1km	火山性地震増加
2011/1/26	18:00	火口周辺警報	3(入山規制)	2km	噴火発生, 噴火規模拡大
2011/1/31	01:35	火口周辺警報	3(入山規制)切り替え	3km	溶岩ドーム成長
2011/2/1	11:20	火口周辺警報	3(入山規制)切り替え	4km	噴石が3kmを超えて飛散
2011/3/22	17:00	火口周辺警報	3(入山規制)切り替え	3km	活動低下
2012/6/26	18:00	火口周辺警報	3(入山規制)切り替え	2km	活動低下
2013/10/22	18:00	火口周辺警報	2(火口周辺規制)	1km	活動低下

資料2 霧島山（新燃岳）噴火予報・噴火警報の全文（2013年10月末現在）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火予報

平成19年12月1日10時19分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊＊（見出し）＊＊

本日から、噴火予報及び警報の発表を開始しました。

霧島山（新燃岳）の火山活動及び警戒事項等については、これまでと変わりありません。

霧島山（新燃岳）の噴火予報・警報は、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）となります。

＊＊（本文）＊＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

新燃岳の噴火予報・警報は、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）です。

2. 対象市町村等

鹿児島県：霧島市

宮崎県：小林市

3. 防災上の警戒事項等

火口内で噴気、火山ガスの噴出等が見られます（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。火口内では警戒が必要です。

新燃岳の火山活動及び警戒事項等については、これまでと変わりありません。

＜噴火警戒レベルは1（平常）です＞

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）

平成20年8月22日17時15分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊＊（見出し）＊＊

＜霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表＞

新燃岳火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性

＜噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引上げ＞

＊＊（本文）＊＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、本日（22日）16時34分頃から振幅の大きな火山性微動が観測されています。

また、8月19日から火山性地震がやや多い状態で推移しています。

このことから、新燃岳では火山活動が高まっていると考えられ、今後、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県：小林市

鹿児島県：霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

＜噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引上げ＞

資料 2 (続き)

火山名 霧島山(新燃岳) 噴火予報:警報解除
平成20年10月29日11時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

(見出し)

＜霧島山(新燃岳)に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常):
警報解除を発表＞

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりました。

＜噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に
下げ＞

(本文)

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、8月22日に噴火が発生しましたが、23日以降噴火は発生せず、火山性地震や火山性微動の発生も少なくなりました。また、噴煙量も次第に減少しています。これらのことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりました。

火口内及び西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性がありますので、火山灰の噴出等に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県 : 小林市
鹿児島県: 霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口内及び西側斜面では、火山灰の噴出等に警戒が必要です。

＜噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に
下げ＞

火山名 霧島山(新燃岳) 噴火警報(火口周辺)
平成22年3月30日09時10分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

(見出し)

＜霧島山(新燃岳)に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口
周辺規制)を発表＞

新燃岳火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性

＜噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に
上げ＞

(本文)

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、本日(30日)07時34分頃から火山性微動が観測され、現在も継続しています。

遠望カメラでは、08時00分頃から白色噴煙の量が増加しています。

新燃岳では火山活動が高まっており、今後、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね1kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県 : 小林市
鹿児島県: 霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

＜噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に
上げ＞

資料 2 （続き）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火予報：警報解除
平成22年4月16日11時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊ ＊ （見出し） ＊ ＊

＜霧島山（新燃岳）に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）：警報解除を発表＞

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりました。

＜噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に下げ＞

＊ ＊ （本 文） ＊ ＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、3月30日にごく小規模な噴火が発生して以降、噴火は発生していません。火山性地震は4月7日以降少ない状態が続いています。また、火山性微動は3月31日以降発生していません。

遠望カメラでは、白色噴煙の量は4月1日以降少ない状態です。

これらのことから、新燃岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりました。

2. 対象市町村等

宮崎県：小林市

鹿児島県：霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口内及び西側斜面では引き続き噴気がみられており、その近傍では火山灰等の噴出に警戒が必要です。

＜噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に下げ＞

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）
平成22年5月6日14時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊ ＊ （見出し） ＊ ＊

＜霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表＞

新燃岳火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性

＜噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に上げ＞

＊ ＊ （本 文） ＊ ＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、本日（6日）07時頃から火山性地震が増加し、13時までに145回（速報値）発生しました。

新燃岳では火山活動が高まっており、今後、火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県：小林市

鹿児島県：霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

＜噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に上げ＞

資料 2 (続き)

火山名 霧島山(新燃岳) 噴火警報(火口周辺)
平成23年1月26日18時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

(見出し)

＜霧島山(新燃岳)に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を発表＞

火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺で警戒が必要。

＜噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げ＞

(本文)

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、本日(26日)07時31分にごく小規模な噴火が発生し、その後も噴火が続いています。さらに、14時49分頃から火山性微動の振幅が大きくなり、噴火の規模が大きくなっています。15時30分頃から灰白色の噴煙が火口縁上1,500mまで上がり、現在も南東に流れています。

今後、更に活動が活発になる可能性がありますので、火口から2km程度の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県 : 小林市

鹿児島県 : 霧島市

3. 防災上の警戒事項等

新燃岳から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

＜噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げ＞

火山名 霧島山(新燃岳) 噴火警報(火口周辺)
平成23年1月31日01時35分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

(見出し)

＜霧島山(新燃岳)に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を切り替え＞

新燃岳火口から概ね3kmの範囲で火砕流に警戒が必要。

＜噴火警戒レベル3(入山規制)が継続＞

(本文)

1. 火山活動の状況及び警報事項

気象研究所と防災科学技術研究所が行った、だいち衛星画像(JAXA提供)の解析によると、28日に東京大学地震研究所によって火口内に確認された直径数10mの溶岩ドームが、30日には直径500m程度の大きさに成長しました。今後、爆発的噴火が発生した場合、溶岩ドームが破壊され、火口から概ね3kmの範囲まで火砕流が流下する可能性があります。

2. 対象市町村等

宮崎県 : 小林市、高原町

鹿児島県 : 霧島市

3. 防災上の警戒事項等

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。

新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

＜噴火警戒レベル3(入山規制)が継続＞

資料 2 （続き）

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）
平成23年2月1日11時20分 福岡管区気象台・鹿児島
地方気象台

＊ ＊（見出し）＊ ＊

＜霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入
山規制）を切り替え＞

新燃岳火口から概ね4 kmまでの範囲で大きな噴石に警戒
が必要。

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

＊ ＊（本 文）＊ ＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

霧島市牧園支所によると、本日（1日）07時54分に新
燃岳で発生した爆発的噴火により、大きな噴石が新燃岳火口
から3 kmを超えて飛散しているとの情報を得ました。

今後このような規模の大きな爆発的噴火が発生した場合、
新燃岳火口から概ね4 kmまで影響を及ぼす恐れがあります。

2. 対象市町村等

宮崎県 ：えびの市、小林市、高原町、都城市

鹿児島県：霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね4 kmまでの広い範囲では、噴火に伴う弾道
を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

火口から概ね3 kmまでの広い範囲では、火砕流にも警戒
が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れ
き）に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。また、大きな
空振に注意が必要です。

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

火山名 霧島山（新燃岳） 噴火警報（火口周辺）
平成23年3月22日17時00分 福岡管区気象台・鹿児
島地方気象台

＊ ＊（見出し）＊ ＊

＜霧島山（新燃岳）に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入
山規制）を切り替え＞

新燃岳火口から概ね3 kmの範囲で大きな噴石と火砕流に
警戒が必要。

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

＊ ＊（本 文）＊ ＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳は間欠的に噴火が発生しているものの最盛期の活動
に比べ低下した状態で推移しており、爆発的噴火により大き
な噴石が3 kmを超えて飛散する可能性は低くなったと考え
られます。

一方、新燃岳の北西数 kmの地下深くのマグマだまりへの
マグマの供給は続いており、また、マグマだまりから新燃岳
へのマグマの上昇は断続的に続いていると推定されます。噴
火活動は今後も続くと考えられますので、火口から概ね3 k
mの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警
戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県 ：小林市、高原町

鹿児島県：霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね3 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて
飛散する大きな噴石と火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石
（火山れき）に注意が必要です。これまでの噴火では、風に
流されて直径4 cm程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳
火口から10 kmを超えて降りました。

また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴
火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する
情報に注意してください。

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

資料 2 (続き)

火山名 霧島山(新燃岳) 噴火警報(火口周辺)

平成24年6月26日18時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

(見出し)

＜霧島山(新燃岳)に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を切り替え＞

新燃岳火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石に警戒が必要(警戒範囲を縮小)。

＜噴火警戒レベル3(入山規制)が継続＞

(本文)

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止し、新燃岳浅部の活動も低下しており、爆発的噴火により大きな噴石が2kmを超えて飛散する可能性は低くなったと考えられます。

しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できませんので、火口から概ね2kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

宮崎県 : 小林市

鹿児島県 : 霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です(警戒範囲を3kmから2kmに縮小)。

噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。霧島山上空の風情報に留意してください。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

火口から2kmを超える範囲においても、これまでの噴火による火山灰などの堆積等により道路や登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き、地元地方公共団体等が行う立入規制に従ってください。

＜噴火警戒レベル3(入山規制)が継続＞

火山名 霧島山(新燃岳) 噴火警報(火口周辺)

平成25年10月22日18時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

(見出し)

＜霧島山(新燃岳)に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表＞

新燃岳火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性

＜噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引下げ＞

(本文)

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新燃岳では、GPS観測によると、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止し、新燃岳浅部の活動も低下し火山活動は落ち着いた状態が続いています。

しかし、火口内に溜まった溶岩は依然高温状態にあり、火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性は残っていますので、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で警戒をしてください。

宮崎県 : 小林市

鹿児島県 : 霧島市

3. 防災上の警戒事項等

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

火口から1kmを超える範囲においても、これまでの噴火による火山灰などの堆積等により道路や登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元地方公共団体等が行う立入規制に従ってください。

＜噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引下げ＞

表 2 霧島山（新燃岳）火山の状況に関する解説情報の発表状況（2013 年 10 月末現在）

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2008/8/21	16:10	1	火山性地震増加，表面現象なし(8/21現地調査)
2008/8/22	18:05	2	8/22 16:34頃噴火発生，小林市(北東約10km)で灰混じりの雨，火山性微動継続，火山性地震多い状態
2008/8/23	11:00	3	8/22 16:34頃噴火発生，噴火に伴い火山性微動発生(16:34～22:24)，火山性地震多い状態
2008/8/23	16:30	4	白色噴煙100m，火山性微動1回，火山性地震多い状態
2008/8/24	16:30	5	白色噴煙700m，火口外(西側斜面)と火口内南側で噴煙(8/24韓国岳山頂からの現地観測，ヘリ観測)，火山性地震少ない状態
2008/8/25	16:30	6	白色噴煙700m，火山性地震やや多い状態
2008/8/26	16:00	7	白色噴煙700m，火山性地震やや多い状態
2008/8/27	16:00	8	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/8/28	16:00	9	白色噴煙300m，火山性地震やや多い状態
2008/8/29	16:00	10	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/8/30	16:00	11	白色噴煙200～300m，火山性地震やや多い状態
2008/8/31	16:00	12	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/9/1	16:00	13	白色噴煙300m，火山性地震やや多い状態
2008/9/2	16:00	14	白色噴煙300m，火山性地震やや多い状態
2008/9/3	16:00	15	白色噴煙100～800m，火山性地震やや多い状態
2008/9/4	16:00	16	白色噴煙1300m，火山性地震やや多い状態
2008/9/5	16:00	17	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/9/6	16:00	18	白色噴煙200m，火山性地震次第に減少
2008/9/7	16:00	19	白色噴煙200～600m，火山性地震やや多い状態
2008/9/8	16:00	20	白色噴煙200～600m，火山性地震やや多い状態，火山性微動1回発生
2008/9/9	16:00	21	白色噴煙200～900m，火山性地震やや多い状態
2008/9/10	16:00	22	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/9/11	16:00	23	白色噴煙200m，火山性地震やや多い状態，火山性微動1回発生
2008/9/12	16:00	24	白色噴煙100m，火山性地震やや多い状態，火山性微動2回発生
2008/9/13	16:00	25	白色噴煙100～400m，火山性地震やや多い状態
2008/9/14	16:00	26	白色噴煙100～400m，火山性地震次第に減少
2008/9/15	16:00	27	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/9/16	16:00	28	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/9/17	16:00	29	白色噴煙200～300m，火山性地震やや多い状態
2008/9/18	16:00	30	噴煙不明，火山性地震やや多い状態
2008/9/19	16:00	31	白色噴煙100～300m，火山性地震やや多い状態
2008/9/20	16:00	32	白色噴煙200m，火山性地震やや多い状態
2008/9/21	16:00	33	白色噴煙100m，火山性地震やや多い状態
2008/9/22	16:00	34	白色噴煙100～400m，火山性地震やや多い状態
2008/9/23	16:00	35	白色噴煙100～400m，火山性地震やや多い状態
2008/9/24	16:00	36	噴煙不明，火山性地震日回数(0～1回)
2008/9/25	16:00	37	噴煙不明，火山性地震日回数(1～2回)
2008/9/26	16:00	38	白色噴煙100m，火山性地震日回数(0～1回)
2008/9/29	16:00	39	白色噴煙200m，火山性地震日回数(0～14回)，火山性微動9/28に1回発生
2008/10/3	16:00	40	白色噴煙400m，火口内南側に新しくできた噴気地帯の噴気やや減少(10/1及び10/2ヘリ観測)，火山性地震日回数(1～18回)
2008/10/6	16:00	41	白色噴煙100～1000m，火山性地震日回数(1～3回)
2008/10/10	16:00	42	白色噴煙100～600m，火山性地震日回数(1回)

※ 2009 年は火山の状況に関する解説情報の発表はなかった。

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2010/3/30	14:15	1	火口内の一部と火口外の西側斜面に降灰を確認(3/30へリ観測)
2010/3/31	16:00	2	火山性地震やや増加, 噴煙不明
2010/4/1	16:00	3	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/4/2	16:00	4	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2010/4/5	16:00	5	火山性地震次第に減少, 噴煙不明
2010/4/9	16:00	6	火山性地震少ない状態, 噴煙なし
2010/4/12	16:00	7	噴煙なし, 火山性地震少ない状態
2010/4/17	10:00	8	4/17 01:14頃から火山性微動発生, ごく小規模な噴火, 噴煙300m
2010/5/6	12:25	9	5/6 07h頃から火山性地震増加, 噴煙不明
2010/5/7	16:00	10	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/5/8	16:00	11	火山性地震増加, 噴煙なし, 火口内及び西側斜面に特段の変化なし(5/8へリ観測)
2010/5/9	16:00	12	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/5/10	16:00	13	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/5/14	16:00	14	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/5/17	16:00	15	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/5/21	16:00	16	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/5/24	16:00	17	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/5/27	16:15	18	5/27 15:37小規模な噴火, 噴煙100mで雲入り, 高千穂河原(南東3km)で降灰
2010/5/28	16:00	19	火山性地震やや多い状態, 火山性微動5/27に3回発生, 噴煙なし
2010/5/31	16:00	20	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/6/4	16:00	21	火山性地震減少, 噴煙なし
2010/6/7	16:00	22	火山性地震少ない状態, 噴煙なし
2010/6/11	16:00	23	火山性地震少ない状態, 噴煙50m
2010/6/14	16:00	24	火山性地震少ない状態, 噴煙なし
2010/6/18	16:00	25	火山性地震やや多い状態, 噴煙50m
2010/6/21	16:00	26	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/6/25	16:00	27	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/6/27	10:00	28	6/27 01:35頃から火山性微動発生, ごく小規模な噴火が発生した模様, 小林市(北東約10km)でごく微量の降灰, 噴煙不明
2010/6/28	16:00	29	6/27 01:35頃ごく小規模な噴火発生, 高原町(東約10km)でごく微量の降灰, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動6/27に2回発生, 噴煙不明
2010/6/28	16:30	30	6/28 16:02頃から火山性微動発生, 噴火が発生した模様, 火口カメラに火山灰付着, 噴煙不明
2010/7/2	16:00	31	6/28 16:02頃ごく小規模な噴火発生, 東側約10kmでごく微量の降灰, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動6/28に2回発生, 噴煙不明
2010/7/5	16:00	32	7/5 11:03ごく小規模な噴火発生(火口カメラで確認), 火山性地震やや多い状態, 遠望カメラでは噴煙不明
2010/7/9	16:00	33	火山性地震やや多い状態, 火山性微動7/7に1回発生, 噴煙なし
2010/7/10	07:00	34	7/10 05:28頃小規模な噴火発生, 噴煙300mで雲入り
2010/7/12	16:00	35	火山性地震やや多い状態, 火山性微動7/10に1回発生
2010/7/16	16:00	36	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/7/20	16:00	37	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/7/23	16:00	38	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/7/26	16:00	39	火山性地震少ない状態, 噴煙200m
2010/7/30	16:00	40	火山性地震やや多い状態, 火山性微動7/27に1回発生, 噴煙なし
2010/8/2	16:00	41	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/8/6	16:00	42	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2010/8/9	16:00	43	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2010/8/13	16:00	44	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/8/16	16:00	45	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/8/20	16:00	46	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/8/23	16:00	47	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/8/27	16:00	48	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/8/30	16:00	49	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/9/3	16:00	50	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/9/6	16:00	51	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2010/9/10	16:00	52	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/9/13	16:00	53	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/9/17	16:00	54	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2010/9/21	16:00	55	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/9/24	16:00	56	火山性地震少ない状態, 噴煙なし
2010/9/27	16:00	57	火山性地震やや多い状態, 噴煙50m
2010/10/1	16:00	58	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/10/4	16:00	59	火山性地震やや多い状態, 噴煙50～100m
2010/10/8	16:00	60	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2010/10/12	16:00	61	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/10/15	16:00	62	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/10/18	16:00	63	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/10/22	16:00	64	火山性地震増加, 噴煙50m
2010/10/25	16:00	65	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/10/29	16:00	66	火山性地震・微動やや多い状態, 噴煙200m
2010/11/1	16:00	67	火山性地震やや多い状態, 噴煙50～300m
2010/11/5	16:00	68	火山性地震やや多い状態, 火山性微動11/4に1回発生, 噴煙50～300m
2010/11/8	16:00	69	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/11/12	16:00	70	火山性地震やや多い状態, 噴煙なし
2010/11/15	16:00	71	火山性地震やや多い状態, 火山性微動11/15に1回発生, 噴煙なし
2010/11/19	16:00	72	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2010/11/22	16:00	73	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2010/11/26	16:00	74	火山性地震やや多い状態, 火山性微動11/22に2回発生, 噴煙200m
2010/11/29	16:00	75	火山性地震やや多い状態, 火山性微動11/28と11/29に発生, 噴煙200m
2010/12/3	16:00	76	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 噴煙200m
2010/12/6	16:00	77	火山性地震やや多い状態, 火山性微動12/3に1回発生, 噴煙200m
2010/12/10	16:00	78	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2010/12/13	16:00	79	火山性地震やや多い状態, 火山性微動12/11に1回発生, 噴煙50m
2010/12/17	16:00	80	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/12/20	16:00	81	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2010/12/24	16:00	82	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2010/12/27	16:00	83	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2011/1/4	16:00	1	火山性地震やや多い状態, 噴煙400m
2011/1/7	16:00	2	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2011/1/11	16:00	3	火山性地震やや多い状態, 噴煙200m
2011/1/14	16:00	4	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2011/1/17	16:00	5	火山性地震やや多い状態, 噴煙100m
2011/1/19	02:40	6	1/19 01:26頃から火山性微動発生, 噴火が発生した模様, 噴煙不明
2011/1/19	11:40	7	1/19 01:30頃に小規模と推定される噴火発生, 火山性微動01:26~03:02, 弱い空振を観測, 南東方向に降灰
2011/1/21	16:00	8	1/19 01:27小規模噴火発生, 噴煙不明, 南東側で降灰確認, 噴気孔拡大, 周辺に大量の噴出物堆積(1/21へり観測), 火山性地震1/18~19に一時的に増加, 火山性微動1/19 13h頃から継続, その後白色噴煙100m
2011/1/24	16:00	9	1/22 07:30頃ごく小規模な噴火発生, 乳白色噴煙200m, 南東方向, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動1/19 13h頃~1/23 08h頃まで継続
2011/1/26	09:30	10	1/26 07:31ごく小規模な噴火発生, 09:30現在も継続, 灰白色噴煙200m, 南東方向, 火山性微動07:17から継続
2011/1/26	16:35	11	1/26 14:49頃から火山性微動振幅増大, 15:30頃から噴火規模拡大, 灰白色噴煙1500m, 南東方向
2011/1/27	16:15	12	1/26 18:50灰白色噴煙2000m, 南東方向, 1/27 15:41爆発的噴火発生, 噴煙2500m雲入り, 小規模噴火から中規模噴火に修正, 昨日07:17からの火山性微動継続, 空振, 鳴動, 高千穂河原や御池で直径7~8cmの小さな噴石, 警戒範囲2km
2011/1/28	16:30	13	小規模な噴火継続, 噴煙1800m, 南東方向, 1/28 12:47爆発的噴火発生, 噴煙1000m雲入り, 昨日07:17からの火山性微動継続, 東大震研による上空からの観測(1/28)で火口湖消失, 直径数十mの溶岩ドーム出現, 火口南西側に小規模な火砕流が500~600m流下した跡
2011/1/29	16:00	14	小規模な噴火継続, 噴煙500m, 小さな空振を伴う火山性地震多発, 火映, 山体収縮
2011/1/30	16:00	15	小規模な噴火継続, 噴煙500m, 1/30 13:57爆発的噴火発生(噴煙不明), 火山性地震多発, 小さな空振, 山体収縮
2011/1/31	16:00	16	小規模な噴火継続, 噴煙500m, 火山性地震多発, 小さな空振, 山体収縮, 直径500m程度の溶岩ドーム確認(1/31へり観測), 火口から概ね3kmの範囲まで火砕流が流下する可能性
2011/2/1	08:40	17	2/1 07:54爆発的噴火発生, 噴煙2000m, 南東方向, 湯之野空振計で458Pa, 宮崎地台で体感空振, 火砕流は確認されず
2011/2/1	16:30	18	火口内の溶岩ドームは直径500m程度で大きな変化なし(2/1へり観測), ドーム頂部の一部が吹き飛ばされてわずかに低くなる, 火口から西南西3.2km付近に直径約70cmの噴石落下, 火口から概ね4kmの範囲で大きな噴石に警戒
2011/2/2	09:30	19	2/1 23:19 及び 2/2 05:25に爆発的噴火発生, いずれも噴煙2000m, 直上及び北東方向, 湯之野空振計で185Pa及び299Pa, 噴石あり(到達距離不明), 火砕流は確認できず
2011/2/2	16:35	20	2/2 10:47及び15:53に爆発的噴火発生, 15:53の爆発では噴煙3000m, 東方向, 噴石1kmまで飛散, 火砕流は確認できず
2011/2/3	16:00	21	予知連拡大幹事会見解「活発な噴火活動が続いており, 当分の間は, 現在と同程度の溶岩を吹き飛ばす爆発的な噴火を繰り返すと考えられます。」
2011/2/3	16:50	22	2/3 08:09爆発的噴火発生, 噴煙1500m, 東方向, 湯之野空振計で26Pa, 溶岩は直径600m程度で大きな変化なし(2/3へり観測), 乳白色噴煙1000m
2011/2/4	16:00	23	噴火継続, 噴煙3000m, 東方向, 09:42頃噴石の飛散, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/4へり観測)
2011/2/5	16:00	24	噴火継続, 噴煙200~2000m, 東方向, 噴石700mまで飛散
2011/2/6	16:00	25	噴火継続, 噴煙300~2000m雲入り, 噴石700mまで飛散
2011/2/7	16:10	26	噴火継続, 噴煙1500m, 噴石700mまで飛散, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/7へり観測)
2011/2/7	17:45	27	1/26から継続していた噴火が2/7 16:30に終了
2011/2/8	16:00	28	2/7 18:39噴火, 噴煙1600m, 南東方向
2011/2/9	16:00	29	時折噴火発生, 噴煙600m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/9へり観測)

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2011/2/10	16:00	30	時折噴火発生, 噴煙300m
2011/2/11	17:10	31	2/11 11:36爆発的噴火発生, 噴煙2500m, 南東方向, 湯之野空振計244Pa, 噴石あり(飛散距離不明), 火砕流は確認できず, 山体の南斜面に白く変色した部分
2011/2/12	16:00	32	白色噴煙100m
2011/2/13	16:00	33	白色噴煙400m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/13へり観測)
2011/2/14	16:00	34	2/14 05:07爆発的噴火発生, 噴煙不明, 湯之野空振計332Pa
2011/2/15	16:00	35	白色噴煙100m
2011/2/15	18:30	36	第118回予知連絡検討結果「引き続き爆発的噴火は続くと思われますが, 新燃岳へ上昇するマグマの量は現在は低下しており, 多量の火山灰等を放出するような噴火の可能性は低くなっています。しかし多量のマグマが再上昇すれば, 噴火活動が再び活発化する可能性があります。」
2011/2/16	16:00	37	白色噴煙100m
2011/2/17	16:00	38	噴煙不明
2011/2/18	16:00	39	白色噴煙100m
2011/2/21	16:00	40	2/18 18:16爆発的噴火発生, 噴煙3000m, 南方向, 噴石1km, 火山性地震多い状態, 火山性微動2/18 20h以降観測されず
2011/2/25	16:00	41	2/24 03:38噴火発生, 噴煙600m雲入り, 火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生
2011/2/28	16:00	42	2/28 07:33噴火発生, 噴煙不明, 火山性微動と空振を観測
2011/3/2	16:00	43	3/1 19:23爆発的噴火発生, 噴煙不明, 湯之野空振計70Pa, 火山性微動2/28 07:33から継続, 火山性地震多い状態, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/2へり観測)
2011/3/4	16:00	44	断続的に噴火発生, 噴煙1500m雲入り, 南東方向, 山体のわずかな膨張→急激な収縮, 火山性微動2/28 07:33から3/4 14:19まで継続, 火山性地震多い状態, SO2放出量1300t/d(3/2), 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/4へり観測)
2011/3/7	16:00	45	3/3 15:15~3/4 11:00噴火, 火山性微動断続的に発生, 火山性地震多い状態, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/7へり観測)
2011/3/11	16:00	46	3/8 02:50~06:00噴火, 13:29にも噴火, 火山性地震多い状態, SO2放出量500t/d(3/10), 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/11へり観測)
2011/3/13	19:20	47	3/13 17:45噴火発生, 噴煙4000m, 南東方向, 火砕流及び大きな噴石は観測されず, 山体のわずかな膨張→急激な収縮, 火山性地震多い状態
2011/3/14	16:00	48	3/13 17:45の噴火による降灰は高原町~都城市~串間市を中心とした広い範囲, 火山性地震多い状態
2011/3/18	16:00	49	白色噴煙400m, SO2放出量500t/d(3/15), 200t/d(3/17), 火山性地震増加
2011/3/22	17:00	50	第119回予知連絡検討結果「新燃岳は間欠的に噴火が発生しているものの最盛期の活動に比べ低下した状態で推移しています。一方, 新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いており, また, マグマだまりから新燃岳へのマグマの上昇は断続的に続いていると推定され, 噴火活動は今後も続くと考えられます。」
2011/3/25	16:00	51	3/23 08:23噴火発生, 噴煙1000m, 南東方向, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 山体隆起→沈降, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/22へり観測), 警戒範囲3km
2011/3/28	16:15	52	白色噴煙400m, 山体わずかに隆起, 火山性地震増加, 火山性微動3/26に発生
2011/3/29	16:00	53	3/29 03:33 及び 05:46 ごく小規模な噴火発生, 噴煙500m, 噴石・火砕流なし, 山体沈降, 火山性地震多い状態→本日の噴火以降減少
2011/4/1	16:00	54	SO2放出量200t/d(3/30), 火山性地震減少, 火山性微動3/29に3回, 4/1に1回発生
2011/4/4	16:00	55	4/3 08:41噴火発生, 噴煙3000m, 東方向, 山体隆起→沈降, 火山性地震減少, SO2放出量200t/d(4/2)
2011/4/8	16:00	56	白色噴煙500m, 山体わずかに隆起, 火山性地震多い状態, 火山性微動4/5と4/6に発生
2011/4/11	16:00	57	4/9 01:06頃噴火発生, 噴煙不明, 東北東方向, 山体沈降→わずかに隆起, 火山性地震減少, 火山性微動時々発生
2011/4/15	16:00	58	白色噴煙300m, 山体わずかに隆起, 火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生
2011/4/18	16:00	59	白色噴煙400m, 山体わずかに隆起, 火山性地震多い状態, 火山性微動4/15に1回発生

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2011/4/18	20:50	60	4/18 19:22噴火発生, 噴煙2000m, 南東方向, 噴石1km, 山体隆起→沈降, 火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生
2011/4/22	16:00	61	4/18 19:22の噴火で火山れきが約9kmまで達する, 降灰は東方向, 日向灘まで達する, 火山性地震減少, 火山性微動時々発生
2011/4/25	16:00	62	白色噴煙200m, 山体わずかに隆起, 火山性地震増加, 火山性微動時々発生
2011/4/28	16:00	63	白色噴煙300m, 山体わずかに隆起→ゆるやかに沈降, 火山性地震減少, 火山性微動時々発生
2011/5/2	16:00	64	白色噴煙300m, 火山性地震やや増加→少ない状態, 火山性微動5/1 23h~5/2 00h
2011/5/6	16:00	65	白色噴煙500m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(5/2へり観測), 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生
2011/5/9	16:00	66	白色噴煙100m, 火山性地震やや多い状態
2011/5/13	16:00	67	白色噴煙100m, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生
2011/5/16	16:00	68	白色噴煙100m, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生
2011/5/20	16:00	69	白色噴煙300m, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生
2011/5/23	16:00	70	白色噴煙100m, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生
2011/5/27	16:00	71	白色噴煙200m, 火山性地震やや多い状態
2011/5/30	16:00	72	白色噴煙200m, 火山性地震やや増加
2011/6/3	16:00	73	白色噴煙500m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(5/31へり観測), 火山性地震やや多い状態, 火山性微動6/3に1回発生
2011/6/6	16:00	74	白色噴煙700m, 火山性地震少ない状態, 火山性微動時々発生
2011/6/7	18:30	75	第120回予知連検討結果「新燃岳の噴火活動は低下してきています。しかし, 新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており, マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば, 噴火活動が再び活発化する可能性があります。」
2011/6/10	16:00	76	白色噴煙400m, 山体わずかに隆起→沈降, SO2放出量400t/d(6/9), 火山性地震増加→減少, 火山性微動6/9に発生
2011/6/13	16:00	77	白色噴煙50m, 火山性地震少ない状態
2011/6/17	11:00	78	6/16 18:05頃火山性微動発生, 高原町でごくわずかな降灰, ごく小規模な噴火発生と推定, 噴煙不明, 山体わずかに隆起, 火山性地震多い状態
2011/6/17	16:10	79	高原町及び小林市(東約15km)でごくわずかな降灰, 噴煙不明, 山体わずかに隆起, 火山性地震さらに増加
2011/6/20	16:00	80	山体わずかに隆起, 白色噴煙200m, 火山性地震減少, 火山性微動6/19に3回発生
2011/6/24	16:00	81	6/23 20:49ごく小規模な噴火発生, 噴煙200m, 東方向, 小林市(北東約19km)でごく少量の降灰, 山体沈降, SO2放出量1400t/d(6/24), 火山性地震噴火後減少傾向
2011/6/27	16:00	82	白色噴煙200m, 火山性地震減少
2011/6/29	11:05	83	6/29 10:27噴火発生, 噴煙1000m, 北方向, 11h現在噴火継続
2011/7/1	16:00	84	6/29 10:27に発生した噴火は7/1 01:21まで継続, 噴石・火砕流は発生せず, 降灰は五木村(北約50km)でも確認, 山体わずかに隆起→沈降, 火山性地震増加→減少
2011/7/4	16:00	85	山体わずかに隆起→沈降, 火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2011/7/8	16:00	86	山体わずかに隆起, 火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙200m
2011/7/11	16:00	87	山体わずかに隆起→沈降, 火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙100~200m
2011/7/15	16:00	88	山体ゆるやかに沈降, 火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙100~400m
2011/7/19	16:00	89	火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙100~400m
2011/7/22	16:00	90	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙50m
2011/7/25	16:00	91	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙400m
2011/7/29	16:00	92	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙300m
2011/8/1	16:00	93	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙300m
2011/8/5	16:00	94	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙100m, 山体わずかに沈降, SO2放出量100t/d(8/3)

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2011/8/6	11:40	95	8/6 09:41頃火山性微動発生, ごく小規模と思われる噴火発生, 噴煙不明, 不動池(北西6km)や白鳥温泉(北西10km)で微量の降灰, 山体わずかに沈降
2011/8/8	16:00	96	8/6 09:41頃と18:29分頃にごく小規模と思われる噴火発生, 噴煙不明, えびの市(北西15km)で降灰, 山体わずかに沈降, 火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生
2011/8/12	16:00	97	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙100~300m, 山体わずかに隆起
2011/8/15	16:00	98	火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙300m, 山体わずかに隆起
2011/8/19	16:00	99	火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 噴煙不明, 山体わずかに隆起
2011/8/22	16:00	100	火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙50m
2011/8/26	16:00	101	火山性地震多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙100m
2011/8/29	16:00	102	火山性地震多い状態, 火山性微動8/27に1回発生, 白色噴煙100m
2011/8/31	08:40	103	8/31 02:43頃火山性微動発生, 小規模噴火発生, 噴煙500m, 南西方向, 08:40現在噴火継続, 牧園町(南西約15km)で微量の降灰, 山体わずかに沈降
2011/9/2	16:00	104	8/31 02:43の小規模噴火 降灰は南西方向, 霧島市牧園町(約15km)や同隼人町(約20km)でも降灰を確認, 9/2 15h現在も噴火継続, 山体わずかに沈降, 火山性地震多い状態, SO2放出量100t/d(8/29), 2000t/d(9/1)
2011/9/5	16:00	105	8/31からの噴火継続, 灰白色噴煙200m, 南~南西方向, 火山性地震多い状態, SO2放出量2200t/d(9/2)
2011/9/9	16:00	106	8/31からの小規模噴火は9/6 13:50まで継続, 9/7 06:00~18:30にもごく小規模な噴火発生, 火山性地震多い状態→減少, 火山性微動時々発生, 山体わずかに沈降
2011/9/12	16:00	107	火山性地震やや多い状態, 火山性微動9/10に発生, 噴煙不明
2011/9/16	16:00	108	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 火口内の溶岩に大きな変化なし(9/13へり観測), 白色噴煙100m
2011/9/20	16:00	109	火山性地震やや多い状態, 火山性微動9/18に2回発生, 白色噴煙100m
2011/9/26	16:00	110	火山性地震やや多い状態, 火山性微動9/23に2回発生, 白色噴煙500m, 溶岩の縁辺部から中央部にかけてわずかに低くなっていることを確認(9/22へり観測)
2011/9/30	16:00	111	火山性地震やや多い状態, 火山性微動時々発生, 白色噴煙50m
2011/10/3	16:00	112	火山性地震やや多い状態, 火山性微動9/30 01:50~19:38, 白色噴煙100m, SO2放出量300t/d(9/29)
2011/10/7	16:00	113	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙300m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(10/7へり観測)
2011/10/11	16:00	114	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙400m
2011/10/11	18:30	115	第121回予知連絡検討結果「新燃岳では, 間欠的に噴火が発生しています. 新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており, 今後噴火活動が再び活発化する可能性があります。」
2011/10/14	16:00	116	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙300m
2011/10/17	16:00	117	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2011/10/21	16:00	118	火山性地震やや多い状態, 火山性微動10/19に1回発生, 白色噴煙200m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(10/18へり観測)
2011/10/24	16:00	119	火山性地震やや多い状態, 火山性微動10/22に1回発生, 白色噴煙200m
2011/10/28	16:00	120	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙300m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(10/25へり観測)
2011/10/31	16:00	121	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙600m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(10/31へり観測)
2011/11/4	16:00	122	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙600m, SO2放出量300t/d(11/1)
2011/11/7	16:00	123	火山性地震やや多い状態, 噴煙不明
2011/11/11	16:00	124	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(11/8へり観測)
2011/11/14	16:00	125	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2011/11/18	16:00	126	火山性地震やや多い状態, 火山性微動11/17に1回発生, 白色噴煙300m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(11/15へり観測)

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2011/11/21	16:00	127	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙200m
2011/11/25	16:00	128	火山性地震やや多い状態, 火山性微動11/23に1回発生, 白色噴煙300m, SO ₂ 放出量300t/d(11/21)
2011/11/28	16:00	129	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙200m
2011/12/2	16:00	130	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙200m
2011/12/5	16:00	131	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙500m
2011/12/9	16:00	132	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙200m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(12/9へり観測)
2011/12/12	16:00	133	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙300m
2011/12/16	16:00	134	火山性地震やや多い状態, 火山性微動12/13に1回発生, 白色噴煙200m
2011/12/19	16:00	135	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙300m
2011/12/22	16:00	136	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙200m, SO ₂ 放出量200t/d(12/20), 火口内の溶岩に大きな変化なし(12/21へり観測)
2011/12/26	16:00	137	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙300m
2011/12/28	16:00	138	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙200m

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2012/1/4	16:00	1	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙400m
2012/1/6	16:00	2	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/1/10	16:00	3	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/1/13	16:00	4	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m, SO ₂ 放出量500t/d(1/10)
2012/1/16	16:00	5	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/1/20	16:00	6	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/1/23	16:00	7	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/1/27	16:00	8	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m, SO ₂ 放出量500t/d(1/23), 火口内の溶岩に大きな変化なし(1/24へり観測)
2012/1/30	16:00	9	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/2/3	16:00	10	火山性地震やや多い状態, 火山性微動2/1に1回発生, 白色噴煙100m
2012/2/6	16:00	11	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/2/10	16:00	12	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/10へり観測)
2012/2/13	16:00	13	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/2/17	16:00	14	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/2/20	16:00	15	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50～200m, SO ₂ 放出量200t/d(2/17)
2012/2/24	16:00	16	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/21へり観測)
2012/2/27	16:00	17	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/2/29	18:30	18	第122回予知連検討結果「新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止しています。しかし、現在でも火口やその直下には高温の溶岩が溜まっており、新燃岳直下の火山性地震も続いていることから、突発的な噴火が発生する可能性があります。また、今後、深部からのマグマ供給が再開する可能性もあり、新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば新たな噴火の可能性があります。」
2012/3/2	16:00	19	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙100m
2012/3/5	16:00	20	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50～200m
2012/3/9	16:00	21	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/7へり観測)
2012/3/12	16:00	22	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/3/16	16:00	23	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/13へり観測)
2012/3/19	16:00	24	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2012/3/23	16:00	25	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m以下, SO2放出量100t/d(3/22)
2012/3/26	16:00	26	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/3/30	16:00	27	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/4/2	16:00	28	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/4/6	16:00	29	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/4/9	16:00	30	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m以下, SO2放出量100t/d(4/6)
2012/4/13	16:00	31	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/4/16	16:00	32	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/4/20	16:00	33	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/4/23	16:00	34	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/4/27	16:00	35	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/5/1	16:00	36	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/5/7	16:00	37	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙50m
2012/5/11	16:00	38	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/5/14	16:00	39	火山性地震やや多い状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/5/18	16:00	40	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(5/18へり観測)
2012/5/21	16:00	41	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/5/25	16:00	42	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/5/28	16:00	43	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/6/1	16:00	44	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/6/4	16:00	45	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/6/8	16:00	46	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2012/6/11	16:00	47	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/6/15	16:00	48	火山性地震少ない状態, 噴煙不明, SO2放出量100t/d(6/14)
2012/6/18	16:00	49	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/6/22	16:00	50	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2012/6/25	16:00	51	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2012/6/26	18:00	52	第123回予知連絡検討結果「新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止し, 新燃岳浅部の活動も低下しています。しかし, 現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており, 小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。」
2012/6/29	16:00	53	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/7/2	16:00	54	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/7/6	16:00	55	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/7/9	16:00	56	火山性地震少ない状態, 白色噴煙200m
2012/7/13	16:00	57	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/7/17	16:00	58	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/7/20	16:00	59	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/7/23	16:00	60	火山性地震少ない状態, 白色噴煙200m
2012/7/27	16:00	61	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/7/30	16:00	62	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/8/3	16:00	63	火山性地震観測されず, 噴煙不明
2012/8/6	16:00	64	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/8/10	16:00	65	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/8/13	16:00	66	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/8/17	16:00	67	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2012/8/20	16:00	68	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2012/8/24	16:00	69	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/8/27	16:00	70	火山性地震少ない状態, 噴煙不明
2012/8/30	17:30	71	8/30 14時頃から新燃岳付近を震源とする振幅のやや大きな火山性地震が増加, 傾斜計には特段の変化なし, 火山性微動観測されず, 噴煙不明
2012/8/31	09:30	72	火山性地震は昨日17時以降減少, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/8/31	16:00	73	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/9/3	16:00	74	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m, SO ₂ 放出量10t/d(8/31)
2012/9/7	16:00	75	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/9/10	16:00	76	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/9/14	16:00	77	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(9/14へり観測)
2012/9/18	16:00	78	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/9/21	16:00	79	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m
2012/9/24	16:00	80	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m
2012/9/28	16:00	81	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/10/1	16:00	82	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/10/5	16:00	83	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/10/9	16:00	84	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m
2012/10/12	16:00	85	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/10/15	16:00	86	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/10/19	16:00	87	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2012/10/22	16:00	88	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m
2012/10/24	18:00	89	第124回予知連検討結果「新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震が続いていることから、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。」
2012/10/26	16:00	90	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/10/29	16:00	91	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/11/2	16:00	92	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/11/5	16:00	93	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/11/9	16:00	94	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(11/8へり観測)
2012/11/12	16:00	95	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/11/16	16:00	96	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m
2012/11/19	16:00	97	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2012/11/26	16:00	98	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/12/3	16:00	99	火山性地震少ない状態, 白色噴煙200m
2012/12/10	16:00	100	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/12/17	16:00	101	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2012/12/25	16:00	102	火山性地震少ない状態, 白色噴煙20m
2012/12/28	16:00	103	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2013/1/4	16:00	1	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/1/7	16:00	2	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2013/1/15	16:00	3	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/1/21	16:00	4	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/1/28	16:00	5	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m, SO2検出できず(1/24)
2013/2/4	16:00	6	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/2/12	16:00	7	火山性地震少ない状態, 白色噴煙200m, SO2検出できず(2/7)
2013/2/18	16:00	8	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m, 火口内の溶岩に大きな変化なし(2/13へり観測)
2013/2/25	16:00	9	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/3/4	16:00	10	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/3/5	15:00	11	火山性地震本日に入ってやや増加, 14時までに38回, 1日に30回以上発生は2012年4月27日(47回)以来, 傾斜変化なし, 火山性微動発生せず
2013/3/6	16:00	12	3/5の地震回数68回, 3/6は15時までに42回, 1日に60回以上発生は2012年3月10日(72回)以来, SO2検出できず(3/6), 傾斜変化なし, 火山性微動発生せず
2013/3/8	16:00	13	火山性地震やや多い状態, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/8へり観測), 傾斜変化なし, 火山性微動発生せず
2013/3/11	16:00	14	火山性地震3/9以降減少, 傾斜変化なし, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/3/12	18:00	15	第125回予知連絡検討結果「新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。しかし, 現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており, 火口直下の火山性地震がやや増加していることから, 小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。」
2013/3/15	16:00	16	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m, SO2検出できず(3/12)
2013/3/18	16:00	17	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/3/25	16:00	18	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/4/1	16:00	19	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/4/2	16:00	20	火山性地震本日に入ってやや増加, 15時までに48回, 火山性地震増加は3月8日(85回)以来, 火山性微動発生せず, 傾斜変化なし
2013/4/5	16:00	21	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/4/8	16:00	22	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/4/15	16:00	23	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/4/22	16:00	24	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/4/30	16:00	25	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/5/7	16:00	26	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/5/13	16:00	27	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/5/20	16:00	28	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/5/27	16:00	29	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度, SO2検出できず(5/23)
2013/6/3	16:00	30	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/6/10	16:00	31	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/6/17	16:00	32	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/6/18	18:00	33	第126回予知連絡検討結果「新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし, 現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。」
2013/6/24	16:00	34	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/7/1	16:00	35	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/7/8	16:00	36	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/7/16	16:00	37	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/7/22	16:00	38	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/7/29	16:00	39	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度

表 2 (続き)

発表年月日	時刻	号数	情 報 内 容
2013/8/5	16:00	40	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/8/12	16:00	41	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/8/19	16:00	42	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/8/26	16:00	43	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/9/2	16:00	44	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/9/9	16:00	45	火山性地震少ない状態, 白色噴煙100m
2013/9/17	16:00	46	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/9/24	16:00	47	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/9/30	16:00	48	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/10/7	16:00	49	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/10/15	16:00	50	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度
2013/10/21	16:00	51	火山性地震少ない状態, 白色噴煙50m
2013/10/22	18:00	52	第127回予知連検討結果「新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性は残っています。」
2013/10/28	16:00	53	火山性地震少ない状態, 白色噴煙火口内にとどまる程度

資料3 霧島山（新燃岳）火山の状況に関する解説情報の発表例

火山名 霧島山（新燃岳） 火山の状況に関する解説情報 第11号
平成23年1月26日16時35分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊＊（本文）＊＊

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続＞

1. 火山活動の状況

霧島山（新燃岳）は、本日（26日）14時49分頃から火山性微動の振幅が大きくなりました。15時30分頃から噴火の規模が拡大し、灰白色の噴煙が火口縁上1,500mまで上がり、南東方向に流れています。

今後の活動の推移に注意が必要です。

新燃岳では今後も、火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

2. 防災上の警戒事項等

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

なお、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続＞

火山名 霧島山（新燃岳） 火山の状況に関する解説情報 第12号
平成23年1月27日16時15分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊＊（本文）＊＊

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続＞

1. 火山活動の状況（1月26日～1月27日15時）

霧島山（新燃岳）では、昨日（26日）07時31分にごく小規模な噴火が発生し、15時30分頃から噴火の規模が大きくなり、中規模な噴火となりました。18時50分には灰白色の噴煙が火口縁上2,000mまで上がり南東へ流れました。本日（27日）は、小規模な噴火が続いており、15時41分には爆発的噴火により中規模の噴火が発生し、噴煙が火口縁上2,500m以上上がり雲に入りました。

なお、昨日（26日）の15時30分からの噴火については小規模噴火としていましたが、その後噴煙量を精査した結果、中規模噴火に修正します。

昨日（26日）07時17分過ぎに発生した火山性微動は現在も継続しています。

また、新燃岳から離れた地域でも空振や鳴動を感じています。上空の大気の状態によっては、離れた地域でも噴火に伴う空振や鳴動を感じることがあります。なお、離れた場所では空振や鳴動によって被害が生じることはありません。

本日（27日）の現地調査では、高千穂河原や御池付近で直径7～8cmの小さな噴石が飛散しているのを確認しました。

新燃岳では、火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

2. 防災上の警戒事項等

火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

本日の現地調査では、風下側で小さな噴石を確認しています。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

次の火山の状況に関する解説情報は、1月28日（金）16時頃に発表の予定です。

なお、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

資料 3 (続き)

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続＞

火山名 霧島山（新燃岳） 火山の状況に関する解説情報 第16号

平成23年1月31日16時00分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊ ＊ （本 文） ＊ ＊

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続＞

1. 火山活動の状況（1月30日～1月31日15時）

霧島山（新燃岳）では、小規模な噴火及び火山性微動が現在も継続しています。本日（31日）の噴煙は火口縁上500mまで上昇し、南東側へ流れています。

火山性地震は、昨日（30日）は762回、本日（31日）は15時現在で130回（速報値）発生しており、時折小さな空振を伴っています。また、連続して火山灰を放出しているため、山体が収縮する地殻変動が引き続き観測されています。

本日（31日）、海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣体の協力を得て行った上空からの観測では、火口内に直径500m程度の溶岩ドームを確認しました。溶岩ドームの中心付近の高さは火口縁と同程度に達していました。また、火口内南側から高さ火口縁上約500mの白色噴煙が上がっており、火口内西側の火孔では、時折、ごく小規模な噴火（噴煙の高さ火口縁上約200m）が発生しているのを確認しました。

今後、爆発的噴火が発生した場合、溶岩ドームが破壊され、火口から概ね3kmの範囲まで火砕流が流下する可能性があります。

2. 防災上の警戒事項等

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。

新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

次の火山の状況に関する解説情報は、2月1日（火）16時頃に発表の予定です。

なお、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続＞

火山名 霧島山（新燃岳） 火山の状況に関する解説情報 第17号

平成23年2月1日08時40分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊ ＊ （本 文） ＊ ＊

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続＞

1. 火山活動の状況

霧島山（新燃岳）では、本日（2月1日）07時54分に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上2000m上昇し、南東側へ流れました。

この爆発的噴火に伴って、湯之野空振計（新燃岳より南西約3km）では458パスカルを観測しました。また、宮崎地方気象台で体感空振を観測しました。

遠望カメラでは火砕流は確認されませんでした。

また、引き続き火山性微動を伴った噴火が継続しています。

2. 防災上の警戒事項等

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。

新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

次の火山の状況に関する解説情報は、2月1日（火）16時頃に発表の予定です。

なお、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

＜火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続＞

表 3 霧島山（新燃岳）火山活動解説資料の発表状況（2013 年 10 月末現在）

発表年月日	時刻	情 報 内 容
2008/8/22	23:00	16:34頃噴火発生、北東の小林市や高原町で降灰、噴煙不明、17:15火口周辺警報発表、噴火警戒レベル1→2引き上げ(警戒範囲1km)、8/19から火山性地震増加、火口内の状況や温度分布に特段の変化なし(8/21へり観測)
2008/8/24	22:30	火口外西側斜面と火口内南側で複数の新しい火孔から噴煙、8/22の噴火で大きな噴石200～300m(8/24へり観測)
2008/8/25	21:50	8/22噴火で火口外西側斜面に新しくできた割れ目と噴石の状況(8/24へり観測)、降灰の状況
2008/10/29	11:00	11:00噴火予報発表、噴火警戒レベル2→1引き下げ、火口内の噴煙量減少(10/28へり観測)
2010/3/30	11:00	07:34頃から微動発生、白色噴煙の量増加(400m)、09:10火口周辺警報発表、噴火警戒レベル1→2引き上げ(警戒範囲1km)
2010/3/30	17:50	火口内の一部と火口外西側斜面に降灰、熱異常域に特段の変化なし(3/30へり観測)
2010/4/16	11:00	11:00噴火予報発表、噴火警戒レベル2→1引き下げ、火山性地震少ない状態、火山性微動は3/31以降発生せず
2010/5/6	14:30	火山性地震増加、14:00火口周辺警報発表、噴火警戒レベル1→2引き上げ(警戒範囲1km)
2010/5/7	16:20	火山性地震やや多い状態が継続
2010/5/27	17:10	15:37小規模噴火発生、噴煙100mで雲入り、高千穂河原(南東約3km)で弱い降灰
2010/5/27	20:40	15:37小規模噴火発生、微動と弱い空振、火口西側付近には大きな噴石や降灰は確認されず、火口内や火口東側は雲のため観測不能(5/27へり観測)、霧島市・えびの市・小林市で降灰
2010/5/28	21:00	火口内西側斜面に新しい噴気孔(S19)を確認、S19噴気孔に熱異常域を観測、周辺に噴石飛散、中岳(南南東約1.5kmまで降灰)(5/28へり観測)
2011/1/19	18:10	01:27小規模噴火発生、噴煙不明、南東方向(都城市～日南市付近)に降灰
2011/1/21	18:20	1/19 01:27小規模噴火発生、S19噴気孔から噴火と推定(噴気孔拡大、噴出物が厚く堆積)、南東方向に明瞭な降灰の痕跡(1/21へり観測)
2011/1/26	15:30	07:31ごく小規模な噴火発生、S15噴気孔から噴煙が噴出、S15噴気孔に熱異常域(1/26へり観測)、南東方向(都城市付近)に降灰
2011/1/26	20:30	07:31ごく小規模な噴火発生、14:49頃から噴火規模拡大、18:00火口周辺警報発表、噴火警戒レベル2→3引き上げ(警戒範囲1km→2km)、新しいマグマに由来する粒子を検出(東大・産総研)
2011/1/27	20:00	15:41爆発的噴火発生(1959年以来52年振り)、噴煙高度2500m、湯之野空振計で39.7Pa、火口周辺に噴石飛散、南東方向に明瞭な降灰の痕跡(1/27へり観測)、高千穂河原や御池付近で直径7～8cmの小さな噴石
2011/1/28	20:00	12:47爆発的噴火発生、噴煙1000mで雲入り、大きな噴石1.3km、小さな噴石7km、降灰は北東から南方向、火口周辺に高温域
2011/1/31	04:00	溶岩ドーム直径500m程度に成長(だいち衛星画像解析、気象研・防災科研)、火口から約3kmの範囲まで火砕流が流下する可能性、01:35火口周辺警報発表、噴火警戒レベル3切り替え(警戒範囲2km→3km)
2011/1/31	18:40	溶岩ドーム大きく成長、直径500m、頂部は火口縁付近まで達する、溶岩ドーム中心部に非常に高温の熱異常域(1/31へり観測)
2011/2/1	18:30	07:54爆発的噴火発生、噴煙2000m、湯之野空振計で458Pa、空振により窓ガラス破損、大きな噴石3.2km、11:20火口周辺警報発表、噴火警戒レベル3切り替え(警戒範囲3km→4km)、溶岩ドーム頂部の一部がわずかに低くなる(2/1へり観測)、降灰・噴石・空振等に対する注意事項
2011/2/2	21:00	05:25、10:47及び15:53に爆発的噴火発生、噴煙3000m、大きな噴石1km、溶岩ドーム直径600mに拡大、ドーム頂部が平坦に、ドーム中心部に非常に高温の熱異常域(2/2へり観測)、空振に関する参考資料
2011/2/3	19:00	08:09爆発的噴火発生、噴煙1500m、火口内の溶岩に大きな変化なし、ドーム中心部に非常に高温の熱異常域(2/3へり観測)
2011/2/4	16:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩中央と南東部の2ヶ所から噴煙(2/4へり観測)、噴火継続(噴煙高度3000m)
2011/2/7	16:15	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩の表面温度低下(2/7へり観測)
2011/2/9	16:30	火口内の溶岩に大きな変化なし、火山灰の堆積で溶岩と火口壁の境界が不明瞭に(2/9へり観測)
2011/2/13	16:10	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩周辺から白色噴煙(2/13へり観測)

表 3 (続き)

発表年月日	時刻	情 報 内 容
2011/2/14	20:15	05:07爆発的噴火発生, 湯之野空振計で332Pa, 小さな噴石(火山れき)北東方向に16km(小林市周辺), 車のサンルーフ等に被害
2011/2/18	19:30	18:16爆発的噴火発生, 噴煙3000m, 大きな噴石1km, 南方向に降灰, 火口内の溶岩の中央部に窪み(2/18へり観測)
2011/2/21	17:00	火口内の溶岩に大きな変化なし, 溶岩の表面温度低下(2/21へり観測)
2011/2/25	17:50	火口内の溶岩に大きな変化なし, 溶岩の表面に南北に走る亀裂, 溶岩の表面温度に大きな変化なし(2/25へり観測)
2011/3/2	17:00	昨日(3/1)19:23爆発的噴火発生, 東方向(都城市)で少量の降灰, 火口内の溶岩に大きな変化なし(3/2へり観測)
2011/3/4	20:20	断続的に噴火発生, 火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(へり観測), 山体隆起→沈降
2011/3/7	18:00	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(3/7へり観測)
2011/3/11	17:10	火口内の溶岩に大きな変化なし, 火口内南東側に直径100m程度の火孔を確認, 地表面温度分布に大きな変化なし(3/11へり観測), SO2放出量500t/d(3/10)
2011/3/14	19:00	昨日(3/13)17:45噴火発生, 噴煙4000m, 南東方向に降灰, 小さな噴石(火山れき)9km(都城市夏尾町), 山体隆起→沈降
2011/3/22	18:30	17:00火口周辺警報を切り替え, 大きな噴石に対する警戒範囲4km→3km, 火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(3/22へり観測), SO2放出量200~500t/d(3/15, 3/17)
2011/4/3	16:10	08:41噴火発生, 噴煙3000m, 降灰予報発表, 東方向に降灰, 山体隆起→沈降
2011/4/19	19:30	昨日(4/18)19:22噴火発生, 噴煙高度2000m, 大きな噴石1km, 小さな噴石(火山れき)9km(高原町), 民家の太陽電池パネル等破損, 東方向に降灰, 山体隆起→沈降
2011/4/26	18:00	火口内の溶岩に大きな変化なし(4/26へり観測), 山体わずかに隆起
2011/4/28	17:50	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(4/28へり観測), 山体わずかに隆起→ゆるやかに沈降
2011/5/2	15:00	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(5/2へり観測), 山体わずかに隆起→沈降
2011/5/13	16:50	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(5/13へり観測), 山体わずかに隆起→沈降
2011/5/17	18:30	火口内の様子は視界不良のため確認できず, 地表面温度分布に大きな変化なし(へり観測), SO2放出量200t/d(5/13)
2011/5/31	16:40	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(5/13へり観測)
2011/6/29	18:15	10:27小規模な噴火発生, 噴煙1000m, 北方向に降灰, 五木村(北約50km)でも降灰, 山体わずかに隆起→沈降
2011/8/31	18:30	02:43小規模な噴火発生, 噴煙500m, 南西方向に降灰(霧島市隼人町など), 山体わずかに沈降
2011/9/13	17:30	火口内の溶岩に大きな変化なし(9/13へり観測)
2011/9/22	18:30	火口内の溶岩の縁辺部から中央部にかけてわずかに低くなっていることを確認, 地表面温度分布に大きな変化なし(9/22へり観測)
2011/10/7	17:20	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし, 西側斜面の割れ目付近の一部にやや温度の高い部分(10/7へり観測)
2011/10/18	17:30	火口内の溶岩に大きな変化なし(10/18へり観測)
2011/10/25	17:00	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし, 西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(10/25へり観測)
2011/10/31	14:00	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし(10/31へり観測)
2011/11/8	15:40	火口内の溶岩に大きな変化なし, 西側斜面の割れ目から数mの白色噴気, 地表面温度分布に大きな変化なし, 西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(11/8へり観測)
2011/11/15	14:30	火口内の溶岩に大きな変化なし, 地表面温度分布に大きな変化なし, 西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(11/15へり観測)

表 3 (続き)

発表年月日	時刻	情 報 内 容
2011/12/9	16:50	火口内の溶岩に大きな変化なし、西側斜面の割れ目から数mの白色噴気、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(12/9へり観測)
2011/12/13	15:30	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(12/13へり観測)
2011/12/21	16:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(12/21へり観測)
2012/1/17	17:40	火口内の溶岩に大きな変化なし、西側斜面の割れ目からごく弱い噴気、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(1/17へり観測)
2012/1/24	17:20	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(1/24へり観測)
2012/2/10	17:40	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(2/10へり観測)
2012/2/22	14:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(2/22へり観測)
2012/3/7	15:30	火口内の溶岩に大きな変化なし、西側斜面の割れ目から10m程度の白色噴気、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(3/7へり観測)
2012/3/13	17:30	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(3/13へり観測)
2012/5/18	18:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(5/18へり観測)
2012/9/14	15:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩上に複数の水たまりを確認、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(9/14へり観測)
2012/11/8	16:45	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩上の複数の水たまりは前回(9/14)より小さくなる、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(11/8へり観測)
2013/2/13	17:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩上の複数の水たまりに大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし、西側斜面の割れ目付近の一部に引き続きやや温度の高い部分(2/13へり観測)
2013/3/8	17:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩上の複数の水たまりに大きな変化なし、地表面温度分布に大きな変化なし(3/8へり観測)、火山性地震は3/5以降やや多い状態
2013/5/21	17:00	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩上の東側から南側にかけて水たまりを数ヶ所確認、地表面温度分布に大きな変化なし、火口の南側を中心にやや温度の高い部分(5/21へり観測)、火山性地震は3/5～8と4/2に一時的に増加
2013/10/1	16:40	火口内の溶岩に大きな変化なし、溶岩上の東側に水たまりを数ヶ所確認、地表面温度分布に大きな変化なし、火口の北側と南側を中心にやや温度の高い部分、西側斜面の割れ目付近でもやや温度の高い部分(10/1へり観測)

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

霧島山（新燃岳）では、本日（26 日）07 時 31 分にごく小規模な噴火が発生し、その後も噴火が継続していました。14 時 49 分頃から火山性微動の振幅が大きくなり、噴火の規模も大きくなっています。

今後、さらに活動が活発になる可能性があるため、26 日 18 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げました。

新燃岳から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

○ 1 月 26 日の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1）

新燃岳では 14 時 49 分頃から噴火の規模が大きくなり、18 時 50 分には灰白色の噴煙が火口縁上 2,000m まで上がり、南東方向に流れています。

・微動の発生状況（図 2）

火山性微動が 07 時 17 分から発生し、14 時 49 分頃から振幅が大きくなり、微動の最大振幅は新燃岳南西（新燃岳より南西約 1.7 km）の観測点で $819 \mu\text{m/s}$ でした。

なお、18 時 35 分頃から火山性微動の振幅は $40 \mu\text{m/s}$ 程度となっています。

・火山灰の解析結果

東京大学地震研究所及び独立法人産業技術総合研究所が 19 日に新燃岳で発生した噴火に伴う火山灰を解析した結果、新しいマグマに由来する粒子が検出されました。これはマグマが火口直下の浅いところまで上昇していることを示唆していると考えられます。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料 4-1 (続き)



図 1 霧島山 (新燃岳) 噴火の状況の比較

遠望カメラ (新燃岳の南南西約 7km) では、07 時 31 分に発生した噴火の規模が 14 時 49 分頃から大きくなり、18 時 50 分には灰白色の噴煙が火口縁上 2,000m まで上がり、南東方向に流れています。

資料 4-1 (続き)

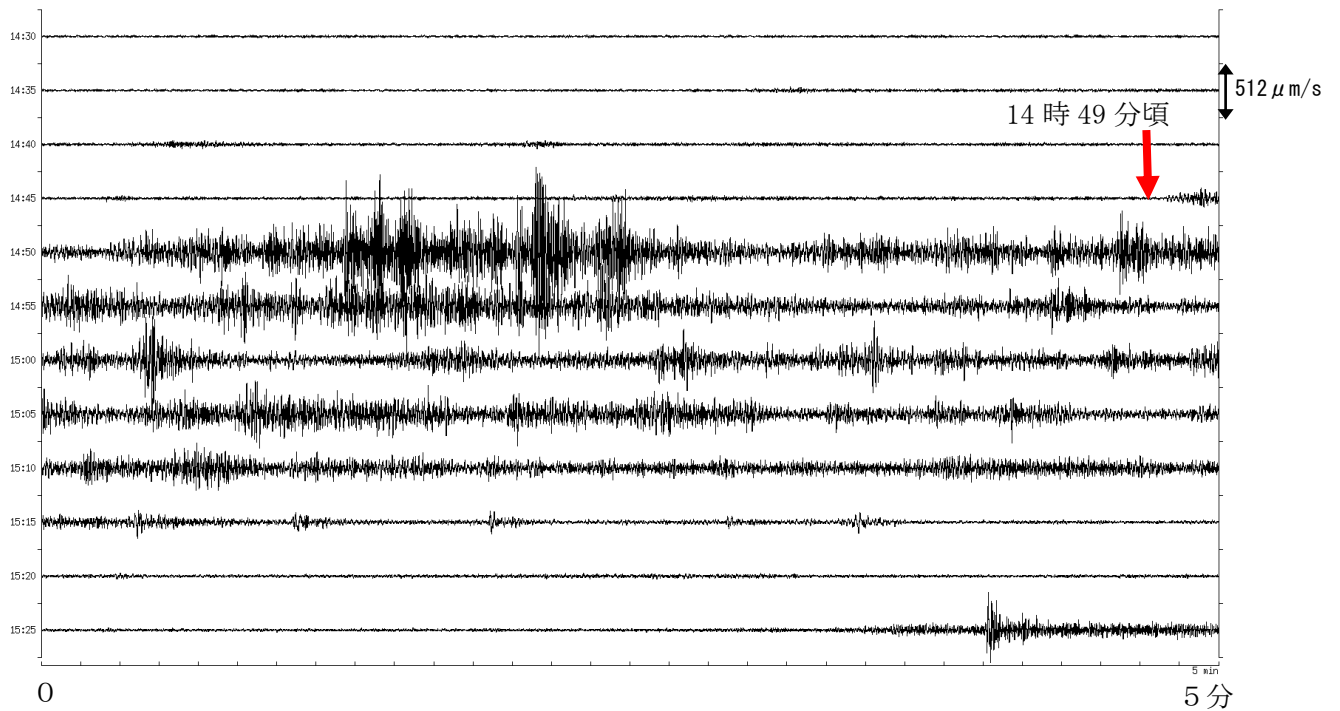


図 2 霧島山（新燃岳） 噴火に伴う火山性微動

（新燃岳南西観測点南北成分、2011 年 1 月 26 日 14 時 30 分～15 時 30 分）

火山性微動が 07 時 17 分から発生し、14 時 49 分頃から振幅が大きくなり、微動の最大振幅は新燃岳南西（新燃岳より南西約 1.7 km）の観測点で $819 \mu\text{m/s}$ でした。

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

霧島山（新燃岳）では、本日（27 日）15 時 41 分、1959 年以来 52 年ぶりに爆発的噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 2,500m まで上がり雲に入りました。

本日（27 日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）は九州地方整備局と共同で上空から調査を実施し、北側の一部を除く火口周辺で噴石の飛散を確認しました。

新燃岳から 2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

平成 23 年 1 月 26 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 1 月 27 日の活動状況

・上空からの調査（図 1）

本日（27 日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）は九州地方整備局と共同で上空から調査を実施しました。

灰白色の噴煙が 1,000m 程度上がり、南東に流れているのを観測しました。また、噴煙活動は活発で、火口の北側の一部を除いて火口周辺に噴石が飛散しているのが確認できました。

新燃岳火口周辺と同火口から南東方向に明瞭な降灰の痕跡を確認しました。

・爆発的噴火の状況（図 2）

本日（27 日）15 時 41 分には、中規模の爆発的噴火¹⁾が発生し、噴煙が火口縁上 2,500m まで上がり雲に入りました。地震の最大振幅は新燃岳南西（新燃岳より南西約 1.7km）の観測点で 3,327 $\mu\text{m/s}$ でした。空振の最大振幅は湯之野（新燃岳より南西約 3 km）の観測点で 39.7Pa でした。その後は小規模な噴火が続いています。

新燃岳で爆発的噴火が発生したのは 1959 年以来、52 年ぶりです。

1) 爆発地震を伴い、空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としています。

・震動観測

振幅のやや大きな火山性微動は昨日（26 日）07 時 17 分から発生し、現在（27 日 19 時）も続いています。

・現地調査

本日（27 日）に実施した現地調査では、高千穂河原や御池付近で直径 7～8 cm の小さな噴石が飛散しているのを確認しました。

※降灰調査は、明日（28 日）も実施します。結果については、解析後に公表します。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料 4-2 (続き)

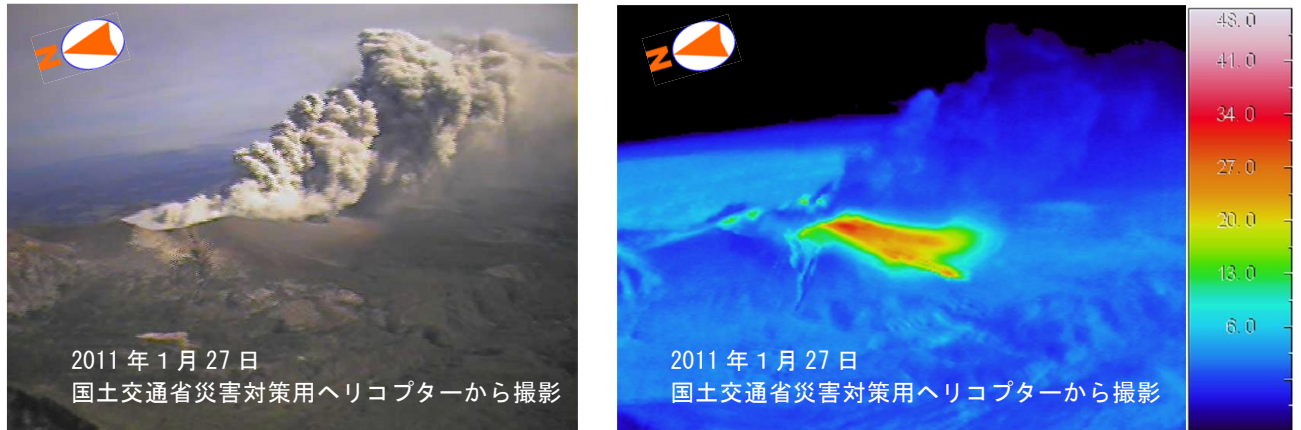


図 1 霧島山（新燃岳）赤外熱映像装置²⁾による火口付近の地表面温度分布
火口外にも噴石が飛散しているのを確認しました。

- 2) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 2 霧島山（新燃岳）大浪池の監視カメラによる映像)
本日（27 日）15 時 41 分に中規模の爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上 2,500m
まで上がり雲に入りました。

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、本日（28 日）12 時 47 分に爆発的噴火が発生しました。この爆発により、噴石が火口から南西約 1.3km に飛散したことを確認しました。

昨日（27 日）および本日（28 日）に、気象庁機動調査班（宮崎地方气象台、鹿児島地方气象台、および福岡管区气象台）は現地調査および聞き取り調査を実施し、降灰は新燃岳～北東から南方向へ分布していました。

新燃岳から 2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

○活動概況

・噴火活動の状況（図 3、5）

噴火は 1 月 26 日 07 時 31 分から継続しています。

本日（28 日）12 時 47 分に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上 1,000m まで上がり雲に入りました。地震の最大振幅は新燃岳南西（新燃岳より南西約 1.7km）の観測点で $773 \mu\text{m/s}$ （27 日 15 時 41 分の爆発は同観測点で $3,327 \mu\text{m/s}$ ）でした。空振の最大振幅は湯之野（新燃岳より南西約 3 km）の観測点で 81.8Pa（27 日 15 時 41 分の爆発は同観測点で 39.7Pa）でした。現地調査で、この爆発により噴石が火口から南西約 1.3km に飛散したことを確認しました。

その後は小規模な噴火が続いています。

・現地調査（図 1～5）

昨日（27 日）および本日（28 日）に、気象庁機動調査班（宮崎地方气象台、鹿児島地方气象台、および福岡管区气象台）は現地調査および聞き取り調査を実施しました。調査によると、降灰は新燃岳の北東から南方向へ分布しました。また、鹿児島県霧島市高千穂河原（新燃岳火口から南東約 3 km）で直径 7～8 cm、宮崎県都城市御池町（新燃岳火口から南東約 7 km）で直径 4～6 cm の小さな噴石が飛散しているのを確認しました。

鹿児島県霧島市新湯温泉付近から遠望観測では、27 日 17 時 35 分頃噴煙高度が 3,000m まで上がっていました。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、火口周辺に高温域を確認しました。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

資料 4-3 (続き)

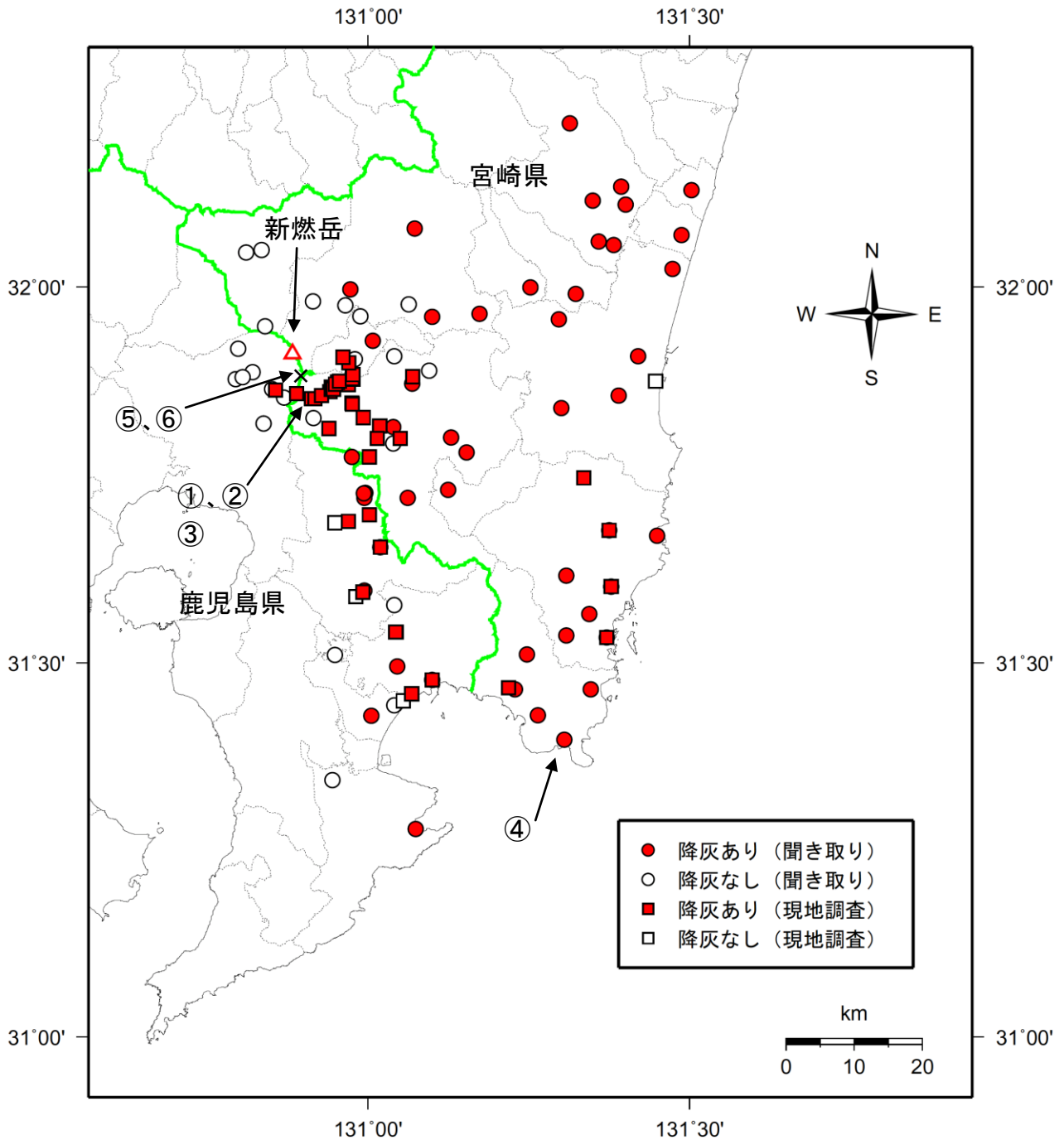


図 1 霧島山（新燃岳） 降灰調査状況図（1 月 27～28 日）
降灰は新燃岳の北東～南方向へ分布しました。
図中の①～⑥は図 2 の写真の撮影場所を示します。

資料 4-3 (続き)



①宮崎県都城市御池町 (27 日)
御池小学校で火山礫により車のリアガラスが割れていました。



②宮崎県都城市御池町 (27 日)
御池小学校で直径 4 ～ 6 cm の小さな噴石を確認しました。(新燃岳火口から南東約 7 km)



③宮崎県都城市御池町 (27 日)
御池小学校で火山灰が 5 cm 堆積していました。



④宮崎県串間市 (27 日)
総合運動公園で車の上に降灰を確認しました。



⑤鹿児島県霧島市 (27 日)
高千穂河原ビジターセンターで降灰を確認しました。



⑥鹿児島県霧島市 (27 日)
高千穂河原ビジターセンターで降灰が 2 ～ 3 cm 程度堆積していました。
(10 時 30 分調べ 1 m²あたり 26.6kg)

図 2 霧島山 (新燃岳) 降灰の状況

資料 4-3 (続き)



図 3 霧島山（新燃岳） 噴石の飛散状況（右写真は左写真の黄色円内の拡大図）
現地調査で、本日（28 日）12 時 47 分の爆発的噴火により、新燃岳火口の南西約 1.3km に噴石が飛散したことを確認しました。

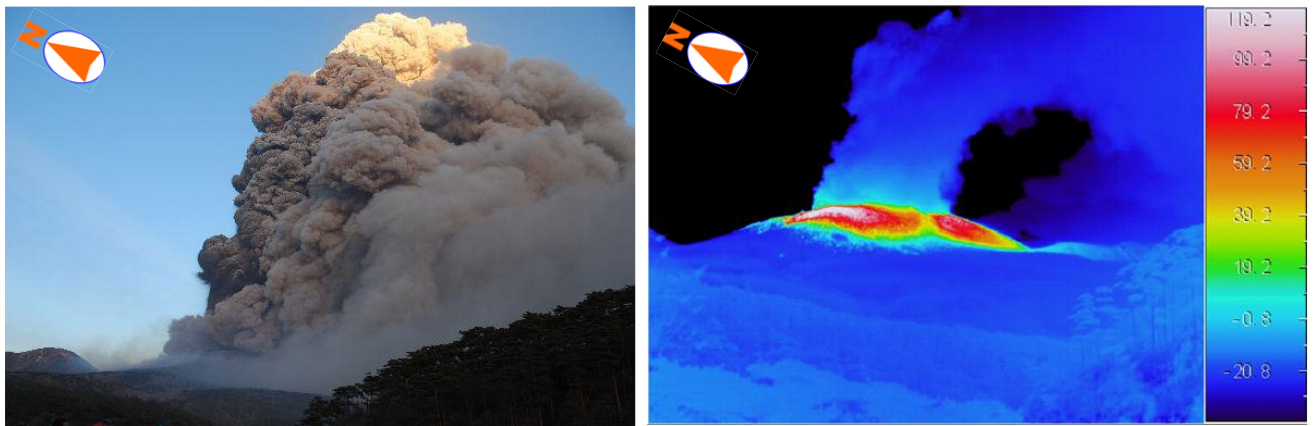


図 4 霧島山（新燃岳） 噴火の状況
（左）27 日 17 時 35 分の噴火の様子 噴煙高度は 3,000m でした。
（右）27 日 17 時 51 分の地表面温度分布 火口周辺に高温域を確認しました。

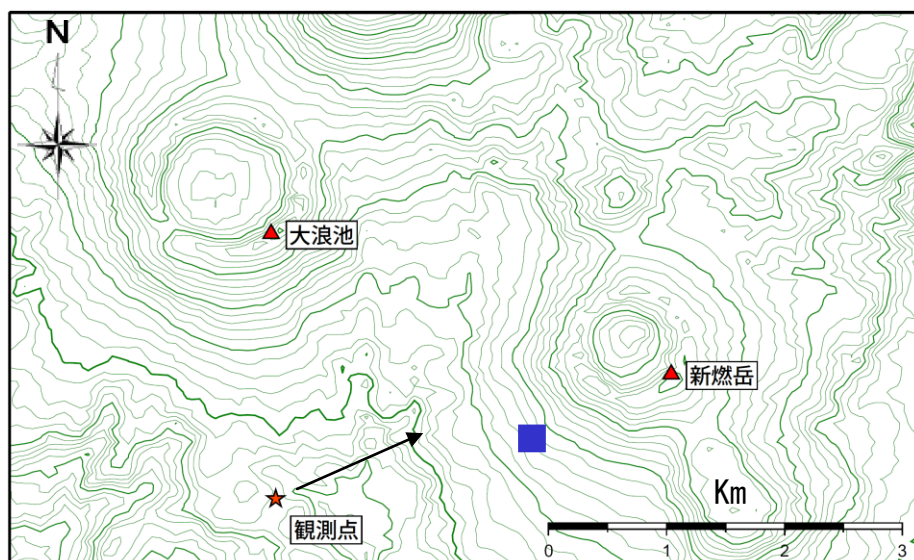


図 5 霧島山 図 3、4 の観測点（鹿児島県霧島市新湯温泉付近）と撮影方向
図中の矢印は観測方向を、四角は噴石の落下位置を示す。

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

気象研究所と防災科学技術研究所が行った、だいち衛星画像（JAXA 提供）の解析によると、28 日に東京大学地震研究所によって火口内に確認された直径数 10m の溶岩ドームが、30 日には直径 500 m 程度の大きさに成長しました。今後、爆発的噴火が発生した場合、溶岩ドームが破壊され、火口から概ね 3 km の範囲まで火砕流が流下する可能性があります。

そのため、31 日 01 時 35 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル 3（入山規制）を切り替えました。

新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

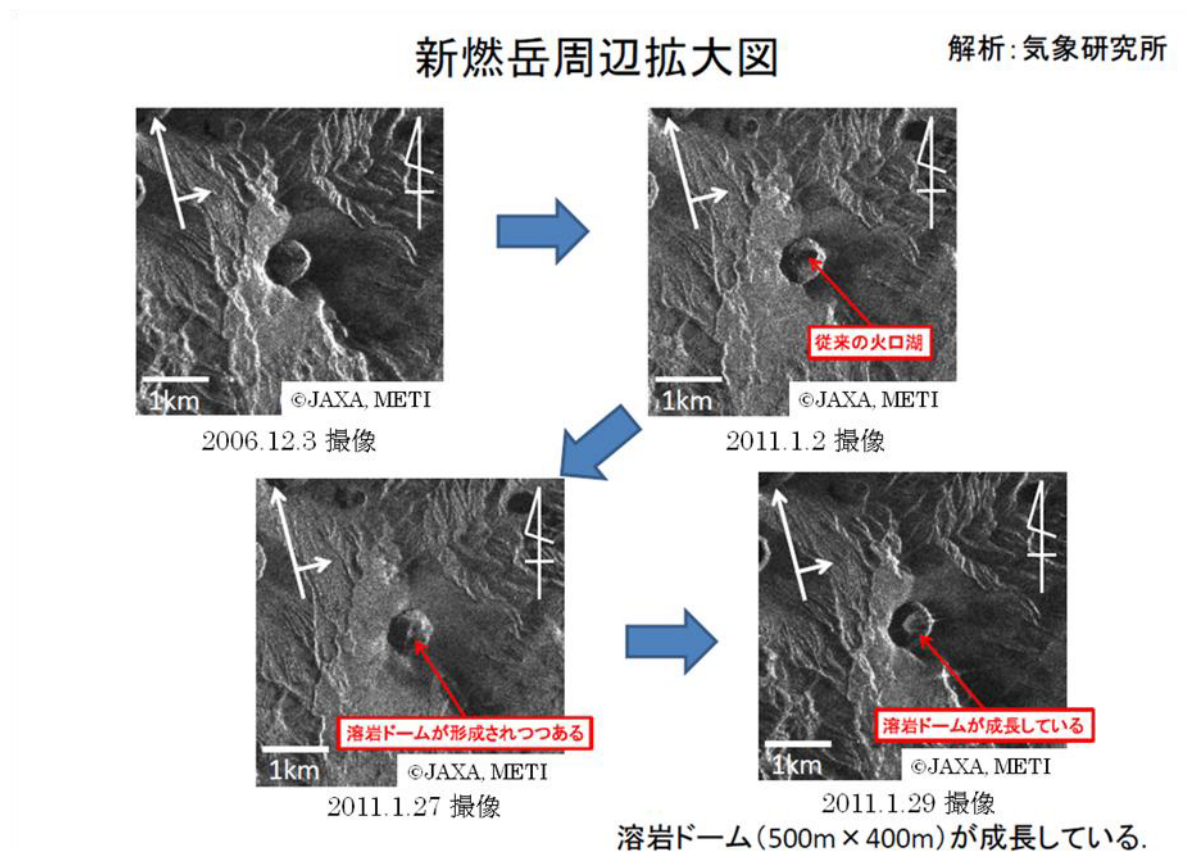
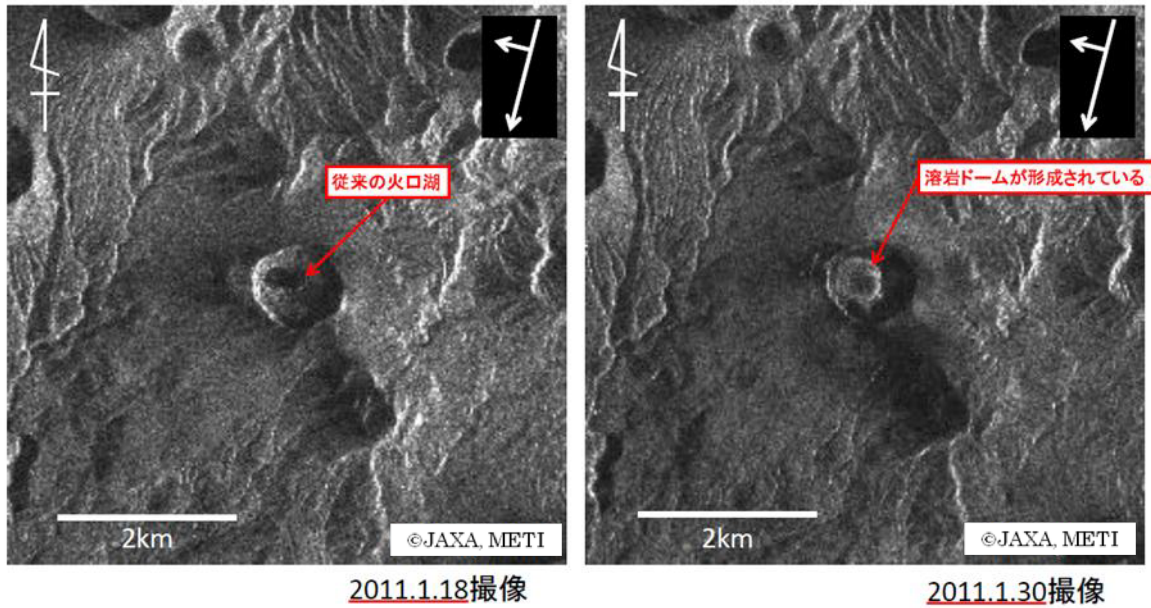


図 1 霧島山（新燃岳） だいち衛星画像（JAXA）の解析結果
火口内に溶岩ドームが形成され、成長しているのが確認されました。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

新燃岳周辺拡大図

解析: 気象研究所



火口湖が消滅し、溶岩ドーム(500m×550m)が形成されていることが確認できる。

図 2 霧島山(新燃岳) だいち衛星画像(JAXA)の解析結果

28 日に東京大学地震研究所によって火口内に確認された直径数 10m の溶岩ドームが、30 日には直径 500m 程度の大きさに成長しました。

図 1 とは撮影方向が異なるため、見え方も異なって表現されます。

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

本日（31 日）福岡火山監視・情報センター及び鹿児島地方气象台が海上自衛隊第 72 航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの観測では、28 日午前中の東京大学地震研究所による上空からの観測で確認された溶岩ドームが大きく成長しているのを観測しました。大きさは直径 500m 程度で、頂部は火口縁付近まで達していました。

新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う火砕流に警戒が必要です。新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石等に警戒が必要です。

○上空からの観測（図 1）

本日（31 日）、福岡火山監視・情報センター及び鹿児島地方气象台が海上自衛隊第 72 航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの観測を実施しました。28 日午前中の東京大学地震研究所による上空からの観測で確認された溶岩ドームが大きく成長しているのを観測しました。大きさは直径 500 m 程度で、頂部は火口縁付近まで達していました。溶岩ドームの中央付近からは白色の噴煙が火口縁上約 500m まで上がっていました。火口内南側から火口縁上約 500m の白色噴煙が上がり、南東方向に流れており、火口内西側の火孔では、時折、ごく小規模な噴火（噴煙の高さ火口縁上約 200m）が発生していました。また、赤外熱映像装置¹⁾による観測では溶岩ドームの中心に非常に高温の熱異常域を確認しました。

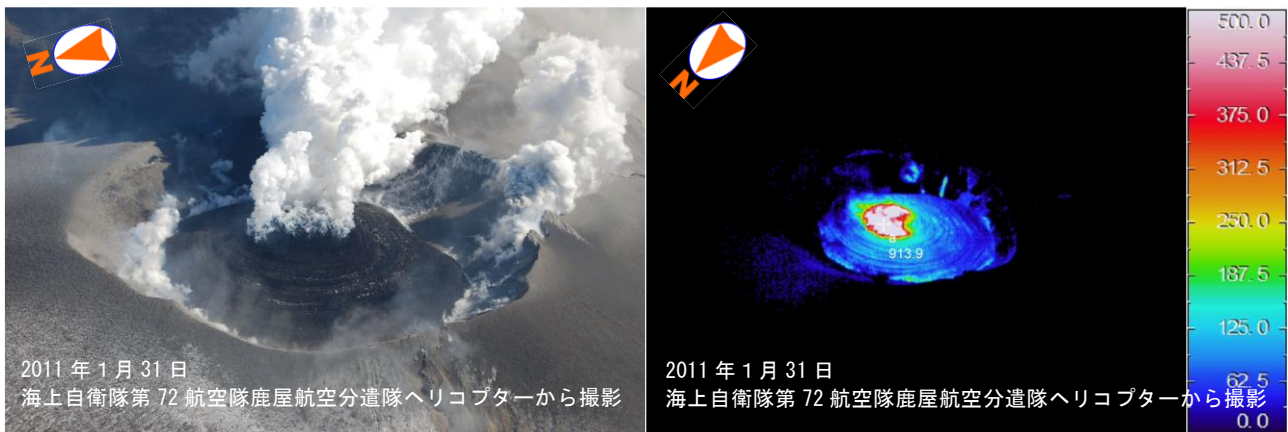


図 1 霧島山（新燃岳） 赤外熱映像装置¹⁾による火口付近の表面温度分布

- ・火口内の溶岩ドームは直径 500m 程度で、頂部は火口縁付近まで達していました。
- ・溶岩ドームの中心に非常に高温の熱異常域を確認しました。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

本日（31 日）04 時発表の火山活動解説資料の訂正をお知らせします。

1 ページ目：右上図の撮影日 2011. 1. 2 撮影⇒2010. 1. 2 撮影に訂正します。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

表 4 霧島山（新燃岳）降灰予報の発表状況（2013 年 10 月末現在）

注）「降灰が予想される地域」は降灰が予想される時間順に並べられている。

注）暫定基準（噴煙高度が火口縁上 2000m 以上、もしくは相当の噴火）で運用。

No.	発表年月日	発表時刻	噴火発生時刻	噴煙高度	降灰が予想される地域
1	2011/1/26	17:30	15:30	1500m	宮崎県 鹿児島県
2	2011/1/27	16:10	15:41	2500m雲入り	宮崎県 鹿児島県
3	2011/1/27	21:00	17:28	3000m	鹿児島県 宮崎県
4	2011/1/28	03:10	27d 17:28	3000m	鹿児島県 宮崎県
5	2011/1/30	14:20	13:57	不明	宮崎県 鹿児島県
6	2011/1/30	15:15	13:57	不明(3000mを仮定)	鹿児島県 宮崎県
7	2011/2/1	08:15	07:54	2000m	宮崎県 鹿児島県
8	2011/2/1	09:05	07:54	2000m	鹿児島県 宮崎県
9	2011/2/1	16:00	15:34	3000m	宮崎県 鹿児島県
10	2011/2/1	21:00	15:34	3000m	鹿児島県 宮崎県
11	2011/2/1	23:50	23:19	2000m以上	鹿児島県 宮崎県
12	2011/2/2	03:00	1d 23:19	2000m以上	鹿児島県 宮崎県 高知県
13	2011/2/2	05:50	05:25	2000m雲入り	鹿児島県 宮崎県 高知県
14	2011/2/2	09:00	05:25	2000m雲入り	鹿児島県 宮崎県
15	2011/2/2	11:15	10:47	500m雲入り	鹿児島県 宮崎県
16	2011/2/2	15:10	10:47	500m雲入り(3000mを仮定)	鹿児島県 宮崎県
17	2011/2/2	16:20	15:53	3000m	鹿児島県 宮崎県
18	2011/2/2	21:20	15:53	3000m	鹿児島県 宮崎県
19	2011/2/3	09:15	噴火継続	1500m	鹿児島県 宮崎県
20	2011/2/3	12:40	12:17	2500m	鹿児島県 宮崎県
21	2011/2/3	15:20	12:17	2500m	鹿児島県 宮崎県
22	2011/2/3	18:05	17:45	2000m	宮崎県 鹿児島県
23	2011/2/3	21:25	17:45	2000m	鹿児島県 宮崎県
24	2011/2/4	10:10	09:42	3000m	鹿児島県 宮崎県
25	2011/2/4	15:05	09:42	3000m	鹿児島県 宮崎県 高知県
26	2011/2/5	11:20	10:53	2000m	鹿児島県 宮崎県
27	2011/2/5	15:00	10:53	2000m	鹿児島県 宮崎県
28	2011/2/6	03:45	03:16	2000m	鹿児島県 宮崎県
29	2011/2/6	09:10	03:16	2000m	鹿児島県 宮崎県
30	2011/2/6	18:40	18:05	2000m	宮崎県 鹿児島県
31	2011/2/6	21:00	18:05	2000m	宮崎県 鹿児島県
32	2011/2/11	12:05	11:36	2500m	鹿児島県 宮崎県
33	2011/2/14	05:40	05:07	不明(3000mを仮定)	鹿児島県 宮崎県 大分県 愛媛県 高知県
34	2011/2/18	18:40	18:16	3000m	宮崎県 鹿児島県
35	2011/3/1	19:40	19:23	不明(3000mを仮定)	鹿児島県 宮崎県
36	2011/3/1	21:15	19:23	不明(3000mを仮定)	鹿児島県 宮崎県
37	2011/3/13	18:15	17:45	4000m	鹿児島県 宮崎県
38	2011/4/3	09:10	08:41	3000m	鹿児島県 宮崎県
39	2011/4/18	19:45	19:22	2000m	鹿児島県 宮崎県

図 1-1 霧島山（新燃岳）降灰予報の例（その 1）

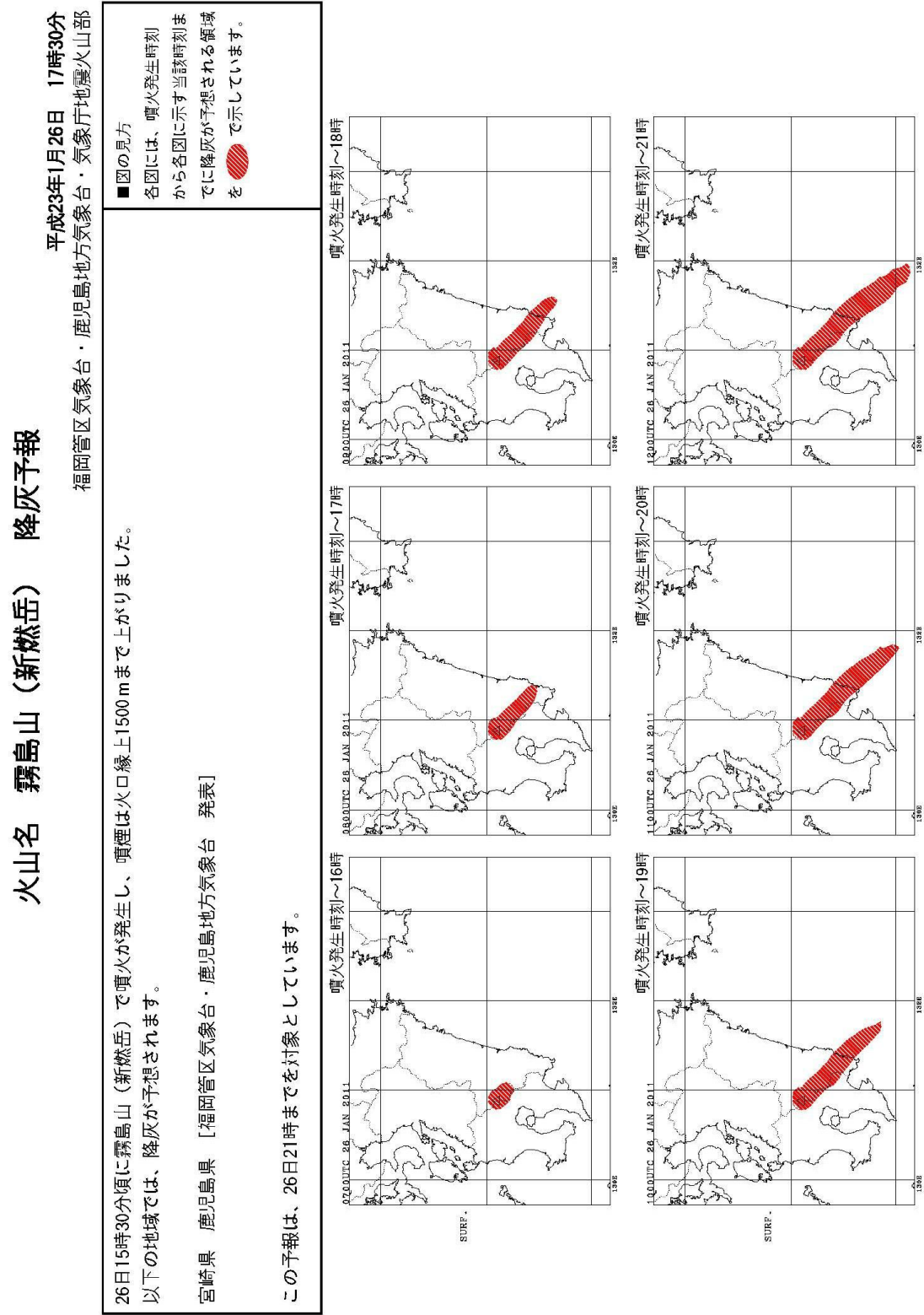


図 1-2 霧島山（新燃岳）降灰予報の例（その 2）

火山名 霧島山（新燃岳） 降灰予報

平成23年2月14日 05時40分
福岡管区気象台・鹿児島地方気象台・大阪管区気象台・気象庁地震火山部

14日05時07分に霧島山（新燃岳）で噴火が発生しました。噴煙の高さは雪のため不明です。噴煙の高さが火口縁上3000 mに達すると仮定した場合には、以下の地域で降灰が予想されます。図は14日05時から降灰の予想される地域を表しています。

鹿児島県 宮崎県 大分県 [福岡管区気象台・鹿児島地方気象台 発表]
愛媛県 高知県 [大阪管区気象台・気象庁地震火山部 発表]

この予報は、14日11時までを対象としています。

■ 図の見方
各図には、噴火発生時刻から各図に示す当該時刻までに降灰が予想される領域を  で示しています。

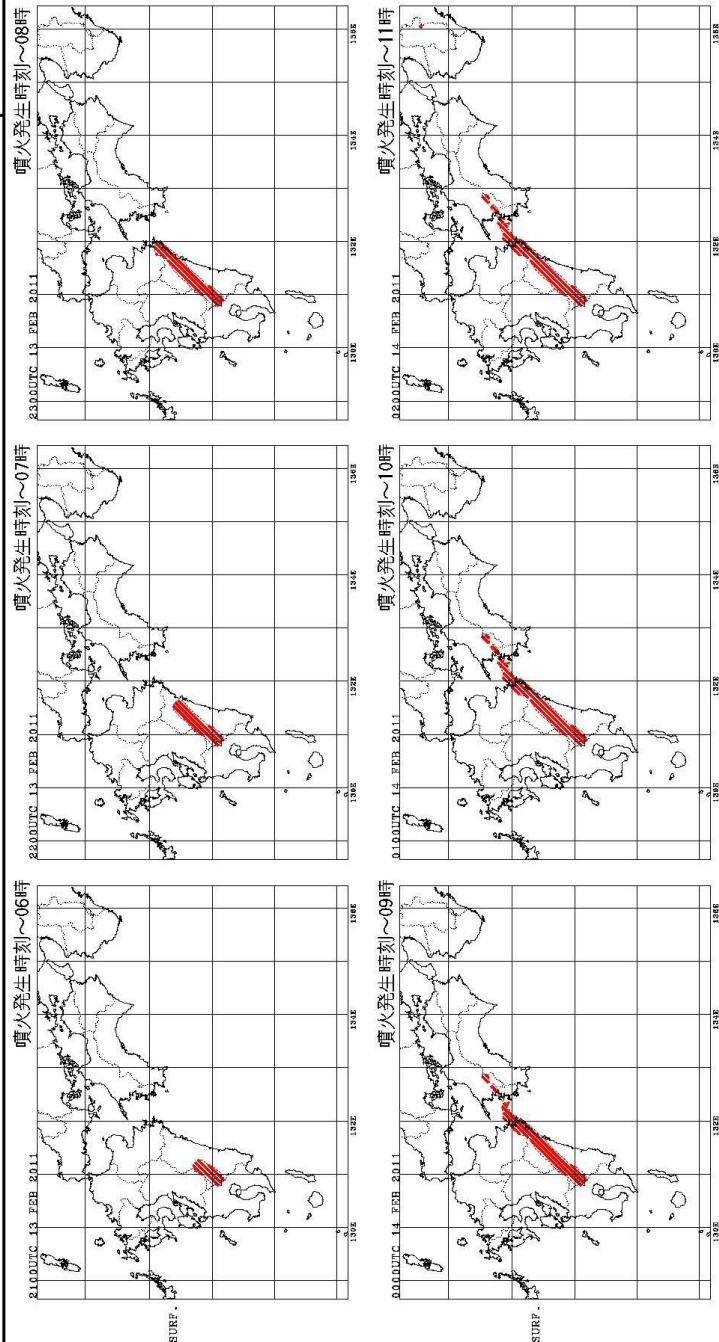


表 5 霧島山（新燃岳）VAA の発表状況（2013 年 10 月末現在） ○：発表した情報

発表日時 (UTC)	発表日時 (JST)	火山名	火山領域	テキスト情報 (FVFE01)	拡散予測図 (VAGF)	実況図 (VAGI)	狭域予測図 (VAGFN)
2010/05/27 06:48Z	2010/05/27 15:48	霧島山	日本	○	-	-	○
2010/06/28 07:38Z	2010/06/28 16:38	霧島山	日本	○	-	-	-
2010/07/09 20:42Z	2010/07/10 05:42	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/01/18 17:23Z	2011/01/19 02:23	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/01/21 23:17Z	2011/01/22 08:17	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/01/22 03:16Z	2011/01/22 12:16	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/01/22 04:05Z	2011/01/22 13:05	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/01/25 22:50Z	2011/01/26 07:50	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/01/26 03:47Z	2011/01/26 12:47	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/01/26 05:57Z	2011/01/26 14:57	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/26 07:28Z	2011/01/26 16:28	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/26 09:32Z	2011/01/26 18:32	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/26 10:20Z	2011/01/26 19:20	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/26 11:52Z	2011/01/26 20:52	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/26 17:55Z	2011/01/27 02:55	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/26 23:55Z	2011/01/27 08:55	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/27 05:56Z	2011/01/27 14:56	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/27 12:11Z	2011/01/27 21:11	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/27 18:00Z	2011/01/28 03:00	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/28 00:01Z	2011/01/28 09:01	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/28 06:16Z	2011/01/28 15:16	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/28 11:58Z	2011/01/28 20:58	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/28 17:51Z	2011/01/29 02:51	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/29 00:20Z	2011/01/29 09:20	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/29 06:12Z	2011/01/29 15:12	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/29 11:59Z	2011/01/29 20:59	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/29 17:56Z	2011/01/30 02:56	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/29 23:58Z	2011/01/30 08:58	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/30 05:50Z	2011/01/30 14:50	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/30 11:52Z	2011/01/30 20:52	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/30 13:04Z	2011/01/30 22:04	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/30 18:00Z	2011/01/31 03:00	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/30 23:50Z	2011/01/31 08:50	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/31 06:06Z	2011/01/31 15:06	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/01/31 12:05Z	2011/01/31 21:05	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/01/31 12:35Z	2011/01/31 21:35	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/01/31 18:08Z	2011/02/01 03:08	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/01/31 23:05Z	2011/02/01 08:05	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/01 00:54Z	2011/02/01 09:54	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/01 01:45Z	2011/02/01 10:45	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/01 06:30Z	2011/02/01 15:30	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/01 06:42Z	2011/02/01 15:42	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/01 06:48Z	2011/02/01 15:48	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/01 08:12Z	2011/02/01 17:12	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/01 12:08Z	2011/02/01 21:08	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/01 18:07Z	2011/02/02 03:07	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/02 00:22Z	2011/02/02 09:22	霧島山	日本	○	-	-	○

表 5 (続き)

発表日時 (UTC)	発表日時 (JST)	火山名	火山領域	テキスト情報 (FVFE01)	拡散予測図 (VAGF)	実況図 (VAGI)	狭域予測図 (VAGFN)
2011/02/02 02:03Z	2011/02/02 11:03	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/02 06:19Z	2011/02/02 15:19	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/02 07:03Z	2011/02/02 16:03	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/02 10:15Z	2011/02/02 19:15	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/02 12:17Z	2011/02/02 21:17	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/02 18:13Z	2011/02/03 03:13	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/02 23:19Z	2011/02/03 08:19	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/03 00:26Z	2011/02/03 09:26	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/03 01:50Z	2011/02/03 10:50	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/03 03:56Z	2011/02/03 12:56	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/03 05:09Z	2011/02/03 14:09	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/03 06:09Z	2011/02/03 15:09	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/03 12:04Z	2011/02/03 21:04	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/03 18:18Z	2011/02/04 03:18	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/03 21:32Z	2011/02/04 06:32	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/03 23:59Z	2011/02/04 08:59	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/04 01:29Z	2011/02/04 10:29	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/04 06:40Z	2011/02/04 15:40	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/04 09:24Z	2011/02/04 18:24	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/04 12:12Z	2011/02/04 21:12	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/04 18:09Z	2011/02/05 03:09	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/05 00:11Z	2011/02/05 09:11	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/05 02:11Z	2011/02/05 11:11	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/05 03:55Z	2011/02/05 12:55	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/05 06:06Z	2011/02/05 15:06	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/05 12:30Z	2011/02/05 21:30	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/05 18:15Z	2011/02/06 03:15	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/05 18:36Z	2011/02/06 03:36	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/05 20:06Z	2011/02/06 05:06	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/06 00:13Z	2011/02/06 09:13	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/06 02:07Z	2011/02/06 11:07	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/06 03:39Z	2011/02/06 12:39	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/06 06:12Z	2011/02/06 15:12	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/06 09:22Z	2011/02/06 18:22	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/06 12:28Z	2011/02/06 21:28	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/06 15:22Z	2011/02/07 00:22	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/06 18:18Z	2011/02/07 03:18	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/06 21:48Z	2011/02/07 06:48	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/07 00:10Z	2011/02/07 09:10	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/07 06:05Z	2011/02/07 15:05	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/07 11:50Z	2011/02/07 20:50	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/07 17:51Z	2011/02/08 02:51	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/07 19:57Z	2011/02/08 04:57	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/08 00:18Z	2011/02/08 09:18	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/08 06:15Z	2011/02/08 15:15	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/08 12:21Z	2011/02/08 21:21	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/08 18:09Z	2011/02/09 03:09	霧島山	日本	○	-	-	-

表 5 (続き)

発表日時 (UTC)	発表日時 (JST)	火山名	火山領域	テキスト情報 (FVFE01)	拡散予測図 (VAGF)	実況図 (VAGI)	狭域予測図 (VAGFN)
2011/02/09 01:18Z	2011/02/09 10:18	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/09 04:35Z	2011/02/09 13:35	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/09 16:10Z	2011/02/10 01:10	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/11 02:47Z	2011/02/11 11:47	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/11 04:16Z	2011/02/11 13:16	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/11 04:34Z	2011/02/11 13:34	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/13 20:16Z	2011/02/14 05:16	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/13 22:03Z	2011/02/14 07:03	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/13 23:54Z	2011/02/14 08:54	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/14 03:34Z	2011/02/14 12:34	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/14 05:44Z	2011/02/14 14:44	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/18 09:31Z	2011/02/18 18:31	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/18 10:07Z	2011/02/18 19:07	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/18 12:09Z	2011/02/18 21:09	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/02/18 15:53Z	2011/02/19 00:53	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/23 18:55Z	2011/02/24 03:55	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/27 22:42Z	2011/02/28 07:42	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/02/28 08:21Z	2011/02/28 17:21	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/28 12:21Z	2011/02/28 21:21	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/02/28 18:10Z	2011/03/01 03:10	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/01 00:20Z	2011/03/01 09:20	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/01 06:11Z	2011/03/01 15:11	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/01 10:32Z	2011/03/01 19:32	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/01 12:10Z	2011/03/01 21:10	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/01 18:11Z	2011/03/02 03:11	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/03 06:32Z	2011/03/03 15:32	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/03 09:28Z	2011/03/03 18:28	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/03 10:17Z	2011/03/03 19:17	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/03 12:17Z	2011/03/03 21:17	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/03 18:09Z	2011/03/04 03:09	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/04 00:13Z	2011/03/04 09:13	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/07 18:06Z	2011/03/08 03:06	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/07 21:03Z	2011/03/08 06:03	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/03/07 23:37Z	2011/03/08 08:37	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/08 04:49Z	2011/03/08 13:49	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/13 09:01Z	2011/03/13 18:01	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/13 09:23Z	2011/03/13 18:23	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/13 10:27Z	2011/03/13 19:27	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/03/13 12:02Z	2011/03/13 21:02	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/03/13 17:40Z	2011/03/14 02:40	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/22 23:36Z	2011/03/23 08:36	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/03/23 02:30Z	2011/03/23 11:30	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/03/23 05:37Z	2011/03/23 14:37	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/03/28 18:45Z	2011/03/29 03:45	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/04/02 23:55Z	2011/04/03 08:55	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/04/03 00:18Z	2011/04/03 09:18	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/04/03 23:24Z	2011/04/04 08:24	霧島山	日本	○	-	-	-

表 5 (続き)

発表日時 (UTC)	発表日時 (JST)	火山名	火山領域	テキスト情報 (FVFE01)	拡散予測図 (VAGF)	実況図 (VAGI)	狭域予測図 (VAGFN)
2011/04/18 10:42Z	2011/04/18 19:42	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/04/18 12:08Z	2011/04/18 21:08	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/04/18 17:34Z	2011/04/19 02:34	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/06/23 12:09Z	2011/06/23 21:09	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/06/29 01:42Z	2011/06/29 10:42	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/06/29 06:13Z	2011/06/29 15:13	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/06/29 12:08Z	2011/06/29 21:08	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/06/29 18:14Z	2011/06/30 03:14	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/06/30 00:08Z	2011/06/30 09:08	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/06/30 06:11Z	2011/06/30 15:11	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/06/30 12:17Z	2011/06/30 21:17	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/08/06 01:13Z	2011/08/06 10:13	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/08/06 11:08Z	2011/08/06 20:08	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/08/30 17:59Z	2011/08/31 02:59	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/08/30 20:10Z	2011/08/31 05:10	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/08/31 00:38Z	2011/08/31 09:38	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/08/31 05:24Z	2011/08/31 14:24	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/08/31 06:22Z	2011/08/31 15:22	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/08/31 12:11Z	2011/08/31 21:11	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/08/31 18:12Z	2011/09/01 03:12	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/01 00:11Z	2011/09/01 09:11	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/01 06:08Z	2011/09/01 15:08	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/01 12:13Z	2011/09/01 21:13	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/01 18:08Z	2011/09/02 03:08	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/02 00:07Z	2011/09/02 09:07	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/02 06:14Z	2011/09/02 15:14	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/02 12:12Z	2011/09/02 21:12	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/02 18:06Z	2011/09/03 03:06	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/03 00:07Z	2011/09/03 09:07	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/03 06:05Z	2011/09/03 15:05	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/03 12:08Z	2011/09/03 21:08	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/03 18:04Z	2011/09/04 03:04	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/04 00:08Z	2011/09/04 09:08	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/04 06:10Z	2011/09/04 15:10	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/04 12:14Z	2011/09/04 21:14	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/04 18:06Z	2011/09/05 03:06	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/05 00:13Z	2011/09/05 09:13	霧島山	日本	○	○	○	○
2011/09/05 05:31Z	2011/09/05 14:31	霧島山	日本	○	-	-	-
2011/09/05 06:12Z	2011/09/05 15:12	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/05 12:08Z	2011/09/05 21:08	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/05 18:11Z	2011/09/06 03:11	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/06 00:10Z	2011/09/06 09:10	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/06 21:07Z	2011/09/07 06:07	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/07 00:13Z	2011/09/07 09:13	霧島山	日本	○	-	-	○
2011/09/07 06:08Z	2011/09/07 15:08	霧島山	日本	○	-	-	○

資料5 空域気象情報（シグメット情報，SIGMET）の例

2011年1月26日09時45分（UTC）発表のSIGMET

WVJP31 RJTD 260945
RJJJ SIGMET 4 VALID 260945/261545 RJTD-
RJJJ FUKUOKA FIR VA MT KIRISHIMAYAMA LOC N3156 E13052 VA CLD OBS AT
0831Z FL220 N3200 E13052 - N3152 E13333 - N3055 E13221 - N3148
E13050 - N3200 E13052 MOV E 55KT INTST UNKNOWN
FCST 1431Z VA CLD APRX SFC/FL200 N3037 E13205 - N3100 E14330 - N2746
E14338 - N2747 E13849 - N2913 E13155 - N3037 E13205.
VA ERUPTION MT SAKURAJIMA LOC N3135 E13040 VA CLD OBS AT 0725Z FL040
EXTENDED SE INTST UNKNOWN=

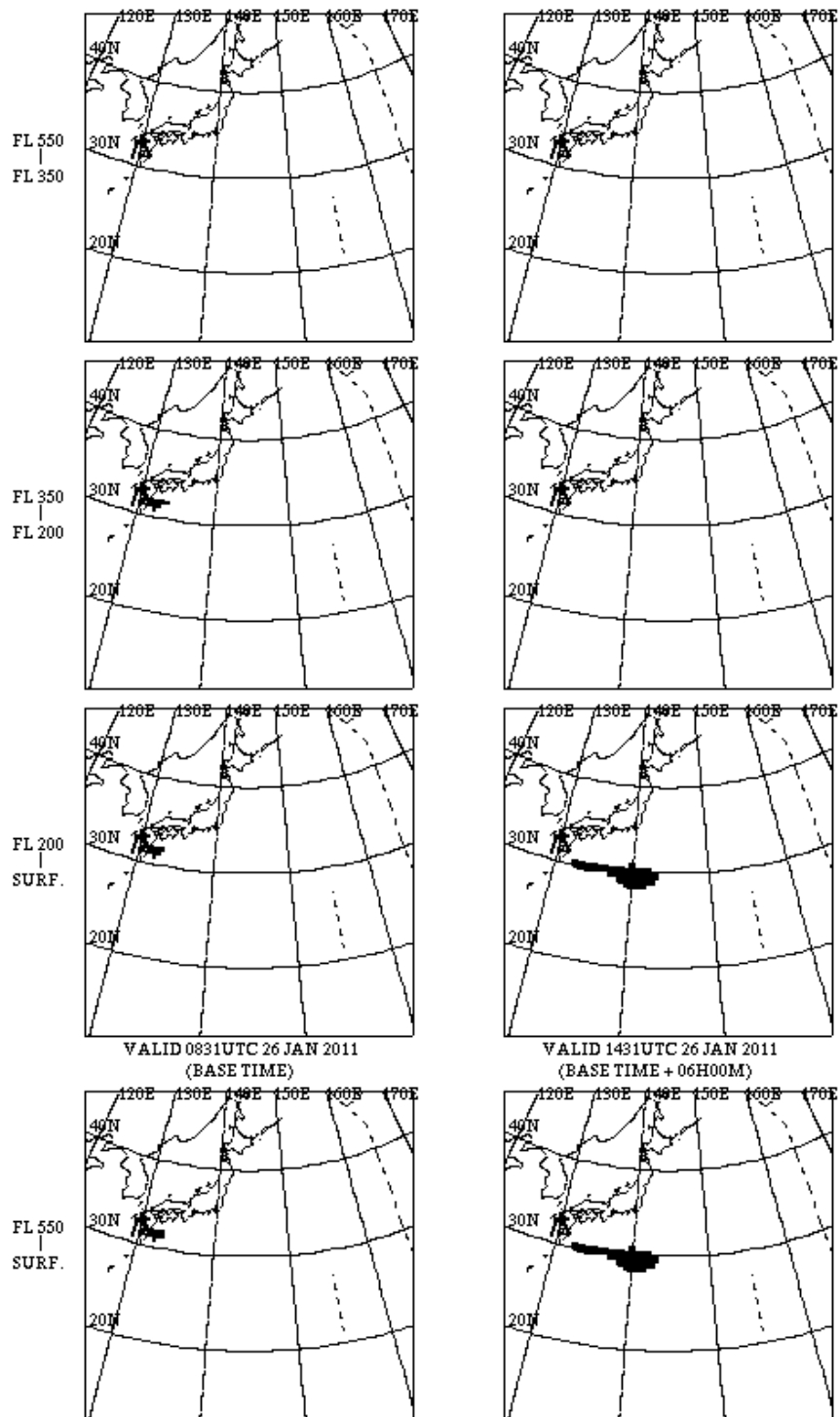
資料6 VAAの文字情報（FVFE01）の例

2011年1月26日09時32分（UTC）発表のVolcanic Ash Advisory Text

FVFE01 RJTD 260932
VA ADVISORY

DTG: 20110126/0932Z
VAAC: TOKYO
VOLCANO: KIRISHIMAYAMA 0802-09
PSN: N3156E13052
AREA: JAPAN
SUMMIT ELEV: 1700M
ADVISORY NR: 2011/9
INFO SOURCE: MTSAT-2
AVIATION COLOUR CODE: NIL
ERUPTION DETAILS: VA EMISSIONS CONTINUING.
OBS VA DTG: 26/0831Z
OBS VA CLD: UNKNOWN/FL220 N3200E13052-N3152E13333-N3055E13221-N3148E1
3050 MOV E 55KT
FCST VA CLD +6HR: 26/1431Z SFC/FL200 N3037E13205-N3100E14330-N2746E14
338-N2747E13849-N2913E13155 FL200/550 NO VA EXP
FCST VA CLD +12HR: 26/2031Z SFC/FL200 N2938E13230-N2937E15228-N2540E1
5154-N2600E14336-N2719E13222 FL200/550 NO VA EXP
FCST VA CLD +18HR: 27/0231Z SFC/FL200 N2803E13218-N2912E15901-N2415E1
5857-N2450E14600-N2552E13231 FL200/550 NO VA EXP
RMK: NIL
NXT ADVISORY: 20110126/1200Z=

図 2-1 火山灰拡散予測図 (VAGF) の例 (その 1)



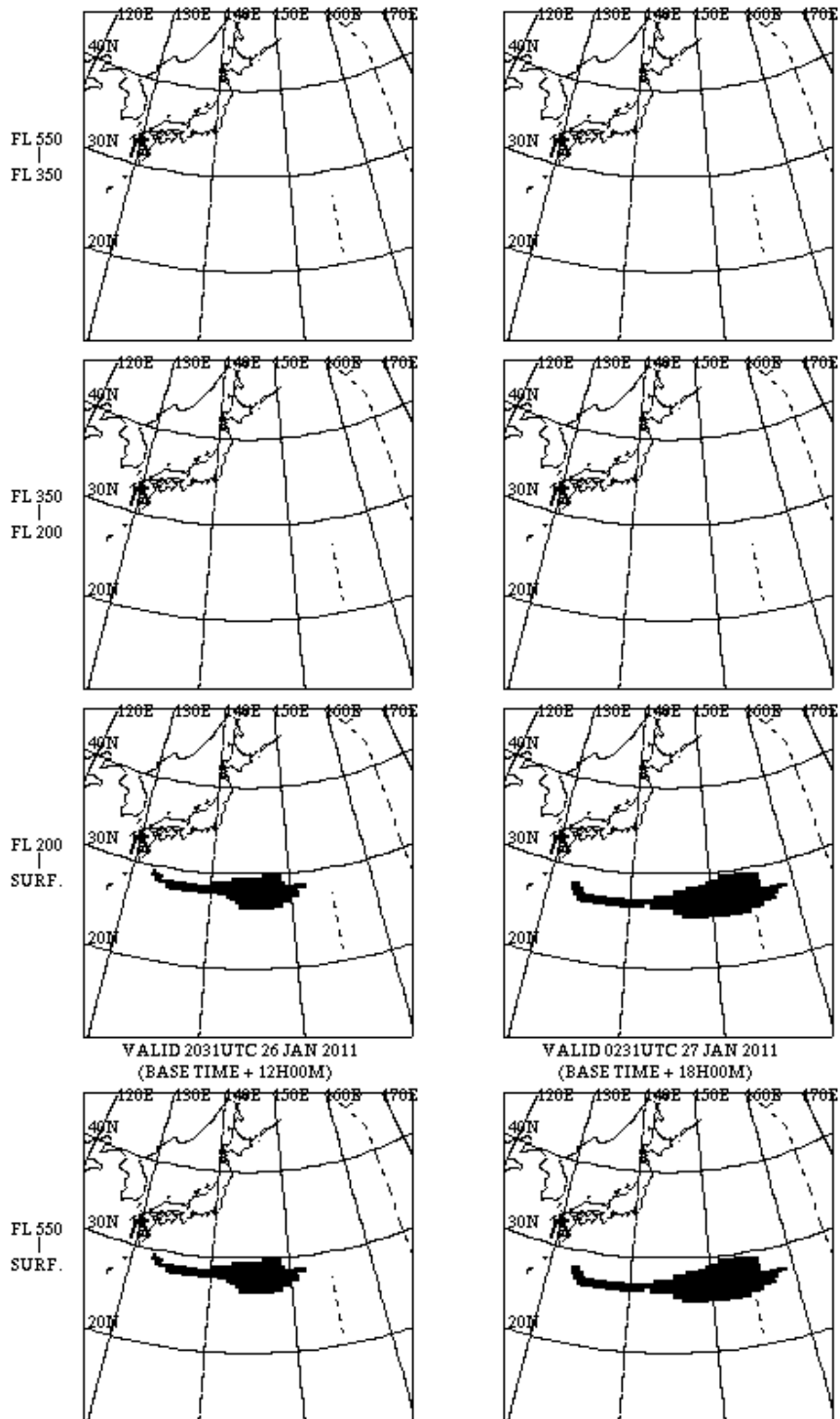
PART 1 OF 2

VAGF
(VOLCANIC ASH ADVISORY IN GRAPHICAL FORMAT)
ISSUED TIME : 0923UTC 26 JAN 2011
BASE TIME : 0831UTC 26 JAN 2011
(START TIME OF FORECAST MODEL)
NEXT VAGF WILL BE ISSUED 1200UTC 26 JAN 2011

■ VISUAL ASH CLOUD
▲ VOLCANO: KIRISHIMAYAMA (0802-09)

TOKYO VAAC

図 2-2 火山灰拡散予測図 (VAGF) の例 (その 2)



PART 2 OF 2

VAGF

ISSUED TIME : 0923UTC 26 JAN 2011

TOKYO VAAC

VOLCANO:KIRISHIMAYAMA (0802-09)
31.55N 130.51E SUMMIT 5577FT
ERUPTION TIME : 2011/01/26 0831Z
ASH COLUMN : FL220

図 3 火山灰実況図 (VAGI) の例

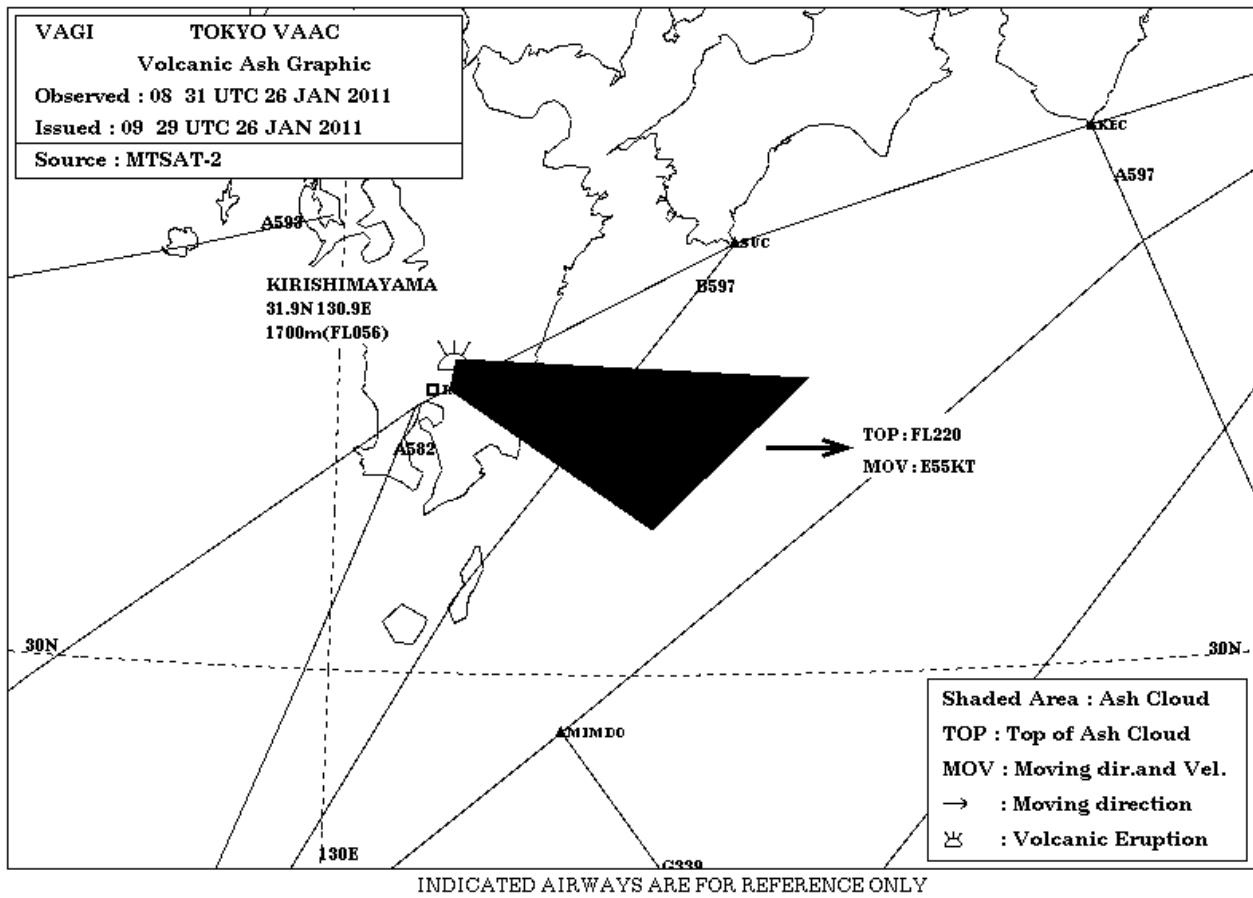


図 4 狭域拡散予測図 (VAGFN) の例

